

# **2 0 2 4 年度 事 業 報 告**

**社 会 福 祉 法 人 麦 の 子 会**



## 目 次

目 次 .....	3
2024年度の主なトピック .....	4
I 法 人 運 営.....	6
II 幼児部門.....	10
III 学童部門.....	35
IV 成人部門.....	61
V 家庭・くらし部門.....	72
VI 医療部門.....	91
VII 地域連携.....	96

## 2024年度の主なトピック

### ①岸田首相がむぎのこを訪問されました。

7月24日（水）岸田内閣総理大臣がむぎのこを訪問されました。滞在時間は到着の10：30から約45分でした。むぎのこセンター玄関前での写真撮影をした後、センター2階での概要説明、1階ホールでの子ども達のリズム運動の見学では、岸田首相もいっしょにリズムの輪の中に入っていました。その後、麦の子館講堂に移動して、お母さん達4名と北川理事長、古家統括部長の意見交換会を行いました。昼のテレビのニュースでの放映やネットでも報道され、「障害のあるお子さん、そして、その御家族の皆さんを真ん中にして、支援の輪が広がり、目指すべき共生社会のモデルケースと言えるような姿が根付いておられる」と官邸HPには総理の見解として公開されていました。

また、遡ること5月1日には、加藤鮎子こども政策等担当大臣（当時）の訪問もありました。昼前に到着し、昼食を挟んで午後16：30頃まで、子どもに関連する事業所の見学や、お母さん達の話などをじっくりと聞き入っていました。

### ②笹川陽平日本財団会長がむぎのこを訪問されました。

7月12日（金）笹川陽平日本財団会長がむぎのこを訪問されました。日本財団からこれまで多くの助成金を受けており、近年は妊娠SOS事業、居所支援の備品、さらに全額寄付によるむぎのこスクールの建築費も御支援をいただいています。

札幌での遺贈セミナーに登壇される前の時間帯の訪問で、わずか30分の訪問ではありましたが、当初スワンベーカーリーで食事をする時間も惜しまれ、「日本のモデルだから」と言って、予定されていたところ以外の場所も見学いただきました。

### ③NHKのeテレで、麦の子会の支援が放映されました。

NHKEテレのETV特集で「子と親の”むぎのこ村”」という特集番組として放映されました。番組では「むぎのこ」の日常や支援の様子、親への支援、中でも虐待した親たちの支援や「虐待自助グループ」を中心に特集が組まれました。様々な背景のあるお母さん達の、虐待してしまう背景や個人史に寄り添い、子育てを個人の責任に負わせるのではなく、社会全体で支えていきたいという、私たちの実践が多く視聴者に届けられる貴重な機会となりました。放送後には全国から多くの反響が寄せられ、麦の子会の支援に対する関心の高まりを実感しました。以後むぎのこへの見学もさらに増加し、各方面から、ほぼ毎日のようにありました。

### ④不登校の子のための学校の建設が始まりました。

小中学校への適応が難しく、地域の学校に通わない選択をした子どもたちが、社会から孤立せずに安心して学び、成長できるためのスクールを現在建設中です。学業だけでなく、地域貢献や友人関係など多様な経験を通じて、子どもたちが本来もつ力に気づき、伸ばすことができるよう、インクルーシブな学びの場を構築します。建物は、集団活動と個別対応の両立が可能な構造とし、医療的ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子どもも通える仕様としています。障害の有無にかかわらず、すべての子どもが自分らしく過ごせる、包摂的なスクールの実現を目指しています。建物の完成は今年の7月中旬で、8月21日に開所式を行います。

### ⑤住宅型有料老人ホーム「パークタウンホーム」を開設しました。

有料老人ホーム「パークタウンホーム」を7月に開設しました。3階建ての3階にあり、1Fは生活介護事業所でコインランドリーを設置、短期入所事業所（定員3名・重症心身児対応）、2Fがグループホームです。法人としては初めて高齢者分野の事業を新設しました。

定員は3世帯、4名と小規模ではありますが、その分、住まわれる一人一人のニーズや、実情にあったケアを行っています。入居前には認知症と被害的な妄想が多かった方も、いまは殆どが落ち着いた時間を過ごしていたり、前住所では家を出ることもなく人との接触を拒むことが多かった方も、毎日スタッフとの会話をしたり、関わる度に感謝の言葉をいただくようになっています。

## ● 2024年度の主な新たな取り組み

- ・ 児童発達支援センターの中核機能の強化（むぎのこ児童発達支援センター・札幌市みかほ整肢園）
- ・ 札幌市みかほ整肢園が医療型から福祉型へ制度変更
- ・ 住宅型有料老人ホーム・パークタウンホームの新設
- ・ 短期緊急里親支援事業の実施（日本財団の補助金による）
- ・ むぎのこインクルーシブ研究所の設立と、インクルージョン保育の調査研究の実施（日本財団の補助金による）

## ● 中期計画（2021～2025年度）の進捗状況

- (1) 就労活動サービスの促進ーゲストハウスの設立（未達）
- (2) 児童家庭支援センター（土地取得済）・里親支援機関（事業は実施中）・こども誰でも通園事業（2024年10月～）の開設
- (3) にんしん SOS・産前産後居場所機能（妊娠期からの子育て支援）（2022年12月～）
- (4) 心理支援拠点の充実・基礎講座等（西尾記念ホール・カウリングセンター）  
(2022年12月～)
- (5) 難聴児支援の体制整備ー聴覚障害児支援中核モデル事業に向けて  
(聴覚検査室設2021年設置、難聴児クラス開設済)
- (6) 調査研究部充実ー東京を拠点としたむぎのこインクルーシブ研究所の設立  
(2024年から実施)
- (7) オルタナティブスクールの設立準備（2025年8月開設予定）
- (8) 新本部設立・SNS事業のスペースの拡大（土地購入済）
- (9) 子育て支援事業・居場所事業の設立(2025年度～実施)

# I 法人運営

## 1. 理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

### (1) 役員構成

- ①理事：北川聡子（理事長） 古家好恵（常務理事） 山崎千恵美 高本美明 木村瑞穂 高田隆一
- ②監事：末永仁宏 向谷地生良
- ③評議員：遠藤光博 尾崎祐一 金田光夫 田澤泰明 中原明 藤井康弘 米山明

### (2) 評議員会の開催

#### 定時評議員会（2024年6月25日（火））

##### ア. 報告事項

- (ア) 2023年度事業報告
- (イ) 2023年度決算報告
- (ウ) 監事監査報告

##### イ. 審議事項

- (ア) 理事選任の件
- (イ) 定款変更の件

### (3) 理事会の開催

#### 第1回理事会〈臨時1〉（2024年5月28日（火））

##### ア. 審議事項

- (ア) （仮称）むぎのこエレメンタリースクール建設工事入札結果承認及び契約締結の件

#### 第2回理事会〈定例1〉（2024年6月18日（火））

##### ア. 報告事項

- (ア) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
- (イ) 人事報告

##### イ. 審議事項

- (ア) 前回議事録承認の件
- (イ) 2023年度事業報告の件
- (ウ) 2023年度決算報告の件
- (エ) 監事監査報告の件
- (オ) 理事辞任に伴う新理事候補者選定の件
- (カ) 定時評議員会日程の件
- (キ) 定時評議員会議案の件
- (ク) 里親養育における専門性向上に関する共同研究実施の件
- (ケ) 定款変更の件
- (コ) 経理規程改定の件
- (サ) ジャンプレッツ（就労移行支援）工賃適正額検討の件
- (シ) 今年度理事会日程の件

#### 第3回理事会〈定例2〉（2024年8月30日（金））

##### ア. 報告事項

- (ア) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
- (イ) 人事報告
- (ウ) 会計報告
- (エ) 監事監査報告

##### イ. 審議事項

- (ア) 前回議事録承認の件
- (イ) こども誰でも通園制度試行的事業実施の件
- (ウ) 乳幼児短期緊急里親事業開始の件
- (エ) パートタイム就業規則改定の件
- (オ) 給与規程むぎのこ保育園補則制定の件
- (カ) 経理規程改定の件
- (キ) 定款変更の件
- (ク) 書面決議による評議員会実施の件

(ケ) 次回理事会日程の件

#### 第4回理事会〈定例3〉(書面決議)(2024年11月22日(金))

##### ア. 報告事項

- (ア) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
- (イ) 人事報告
- (ウ) 会計報告
- (エ) 監事監査報告

##### イ. 審議事項

- (ア) 前回議事録承認の件
- (イ) 第一次補正予算の件
- (ウ) 本部事務所新設用地取得の件
- (エ) 東京事業所開設の件
- (オ) 家族再統合のための居場所支援事業実施の件
- (カ) 車輛の業務外利用規程制定の件
- (キ) 給与規程改定の件
- (ク) 旅費規程改定の件
- (ケ) 施設等整備積立金積立取崩の件
- (コ) 次回理事会日程の件

#### 第5回理事会〈臨時2〉(書面決議)(2025年1月9日(木))

##### ア. 決議事項

- (ア) 里親支援センター用地取得の件
- (イ) 施設等整備積立金積立取崩の件

#### 第6回理事会〈定例4〉(2025年2月21日(金))

##### ア. 報告事項

- (ア) 理事長及び業務執行理事の職務遂行状況について
- (イ) 人事報告

##### イ. 審議事項

- (ア) 前回議事録承認の件
- (イ) 法人クレジットカード規程制定の件
- (ウ) 家庭養育支援機構事務局設置の件
- (エ) 定款変更の件
- (オ) 書面決議による評議員会実施の件
- (カ) 次回理事会日程の件

#### 第7回理事会〈定例5〉(2025年3月18日(火))

##### ア. 報告事項

- (ア) 第3四半期決算報告
- (イ) 監事監査報告

##### イ. 審議事項

- (ア) 前回議事録承認の件
- (イ) 2024年度第二次補正予算の件
- (ウ) 2025年度事業計画の件
- (エ) 2025年度予算案の件
- (オ) ファミリーホーム開設の件
- (カ) 諸規則・規程改定の件
- (キ) 運営規程改定の件
- (ク) 経理規程改定の件
- (ケ) 定款変更の件
- (コ) 書面決議による評議員会実施の件
- (サ) 職務専念の義務免除の件
- (シ) 当別町子ども発達支援センター専門職員指導業務委託に係る見積合わせ応諾の件
- (ス) 次回理事会日程の件

#### (4) 監査・指導の実施

実施者	監査実施日	監査対象
末永 仁宏監事	①2024年 6月 4日 ②2024年 8月 20日 ③2024年 11月 18日 ④2025年 3月 3日	法人定款第18条の規定に基づき、2024年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況。
向谷地生良監事	①2024年 6月 4日 ②2024年 8月 23日 ③2024年 11月 22日 ④ 病 欠	法人定款第18条の規定に基づき、2024年度事業に係る理事の業務執行の状況。
札幌市 ・ 監査指導室 ・ 障がい福祉課	2024年 8月	法人本部 むぎのこ児童発達支援センター (書面による監査)
札幌市 ・ 監査指導室 ・ 障がい福祉課	2024年 10月 15日 (前期) 2025年 2月 27日 (後期)	札幌市みかほ整肢園
札幌市児童相談所	2024年 11月 26日	全ファミリーホーム (ガブリエル ベーテル ミモザ グレープ)
公益財団法人児童育成協会	2024年 6月 5日	むぎのこ保育園 (企業主導型保育園)
札幌市子ども未来局	2024年 10月 4日	むぎのこ保育園 (企業主導型保育園)

#### (5) 助成・補助金

受入事業所	交付団体等	助成・補助金内容	助成額
むぎのこ保育園	札幌市	給食費高騰対策事業	70,000 円
むぎのこ保育園	児童育成協会	運営助成金	63,249,581 円
法人本部	独立法人高齢・障がい者・求職者雇用支援機構	障害者雇用調整金	8,952,000 円
むぎのこ児童発達支援センター	北海道共同募金会	歳末助け合い募金	47,000 円
むぎのこ児童発達支援センター	札幌市	誰でも通園制度補助金	324,400 円
53 事業所	北海道	福祉介護職員処遇改善臨時交付金	7,055,806 円
全日中一時事業	札幌市	補助事業	35,195,157 円
むぎのこ居宅介護	札幌市	移動支援	3,345,386 円
むぎのこクリニック	札幌市保健福祉局	新型コロナワクチン接種補助	135,000 円
むぎのこクリニック	社会保険診療報酬	マイナ保険証利用促進助成金	30,000 円
妊娠 SOS 事業	日本財団	妊娠 SOS 事業運営補助金	9,540,000 円
里親リクルート	日本財団	里親リクルート乳幼児短期里親委託支援	8,240,000 円
インクルーシブ 研究所	日本財団	インクルージョン推進調査研究	9,680,000 円

#### (6) 主な施設・事業所整備事業

工 事 名	請負業者	工事価格
仮称) むぎのこエレメンタリースクール新築工事 (工事中 2025 年 7 月中旬完成予定)	辻野建設工業株式会社	345,400,000 円



(7) 入札（一般・指名）執行状況

入札名	入札日	落札業者名	契約金額
むぎのこエレメンタリースクール新築工事	2024 年 5 月 28 日	辻野建設工業株式会社	345,400,000 円

## 2. 事業運営

(1) 第2種社会福祉事業

- 1) 障害児通所支援事業の経営
- 2) 障害福祉サービス事業の経営
- 3) 小規模住居型児童養育事業の経営
- 4) 移動支援事業の経営
- 5) 相談支援事業の経営

(2) 公益事業

- 1) 診療所の設置経営
- 2) 日中一時支援事業の設置運営
- 3) 札幌市障がい児等療育支援事業
- 4) 当別町こども発達支援センター専門職員指導業務
- 5) 当別町こども発達支援センター発達支援専門員派遣業務
- 6) 認可外保育園の設置経営
- 7) 西尾リプロセス心理臨床研究所の設置運営
- 8) 札幌市あかしあ学園の給食調理業務
- 9) 妊娠SOS相談事業
- 10) 札幌市障がい児フォスタリング事業
- 11) 一般社団法人共生社会プラットフォーム事務局の設置
- 12) 虐待防止のためのSNS相談事業
- 13) むぎのこインクルーシブ研究所の設置運営
- 14) 住宅型有料老人ホームの運営
- 15) 里親養育における専門性向上に関する共同研究

## Ⅱ 幼児部門

### むぎのこ児童発達支援センター（児童発達支援センター）

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位：人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	53	56	57	57	57	56	57	61	61	60	60	58	52.7
北区	14	15	15	15	18	17	17	19	17	19	19	18	16.9
西区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
手稲区			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.8
中央区	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1.1
千歳市													
計	72	76	78	78	81	79	81	86	84	85	85	82	80.6

##### (2) 利用延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計	960	1095	1123	1194	987	1155	1246	1149	1224	1118	1106	1142	13,499

(単位：人)

#### 2. 職員配置状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理 責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7
保育士	常 勤	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
栄養士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	33	32	32	31	31	31	31	31	31	32	32	32
保育士	非常勤	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
指導員	非常勤	20	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
調理員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
その他	非常勤	23	23	23	23	23	22	22	23	23	21	21	21
機能訓練担当	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
機能訓練担当	非常勤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	7
事務員	非常勤	2	2	2	2	1	1	1	1	1	0	0	0
合計		122	122	122	121	120	119	120	121	121	119	120	121

#### 3. 支援業務

##### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回作成、前期後期それぞれ評価、面接し、同意を頂いた。
- ・計画に基づいた療育、保護者に子育てへのアドバイスをを行うことが出来た。
- ・子どもの発達に合わせた目標を設定し、支援する事を心掛けた。
- ・保護者の意向、子どもの能力に合わせたアセスメントを行ない、作成する事が出来た。
- ・令和6年度の報酬改定に合わせた個別支援計画

##### (2) 主な日中活動

- ・基本 朝の会、リズム、手遊び、わらべ歌、絵本読み聞かせ、公園遊び（遊具設定遊び、水遊び、鬼ごっこ、探索散歩、そり遊び）
- ・室内遊び（サーキット、音楽遊び、ストップゲーム、平均台、トンネル、バルーン）

- ・園庭（水運び、泥んこ遊び、プール遊び、そり遊び、シート滑り）
- ・親子遊び（とっちんかっちん、ギッタンバッコン、たけこがはえた、バス遊び、でこちゃんはなちゃん、ふくすけさん、ぞうきん、にほんばし、うめとさくら、おじいさん おばあさん、おすわりやす等）

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	始業式 避難訓練
5月	父親参観週間、お誕生会、避難訓練 園医健診、美香保遠足、さとらんど遠足
6月	お誕生会、総合避難訓練、父親参観日
7月	避難訓練、お泊まり会、海水浴、お誕生会
8月	I期終業式、II期始業式、避難訓練、お誕生会
9月	運動会、避難訓練、お誕生会
10月	避難訓練、お誕生会、丸山動物園遠足
11月	生活発表会総練習、避難訓練、お誕生会、園医健診
12月	生活発表会 大避難訓練、クリスマス会、もちつき、お誕生会、II期終業式
1月	III期始業式、お正月会、避難訓練、父親参観週間、お誕生会
2月	豆まき、お誕生会、避難訓練
3月	ひなまつり、卒園感謝会、避難訓練、修了式・離任式、お誕生会

## 4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器の点検(法定点検年2回)

## 5. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

実施年月日		実施訓練内容		実施年月日		実施訓練内容	
R6・4・19		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>		R6・10・18		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	
R6・5・17		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>		R6・11・15		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	
R6・6・21		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>		R6・12・20		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	
R6・7・19		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>		R7・1・17		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	
R6・8・23		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>		R7・2・21		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	
R6・9・20		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>		R7・3・21		<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	
職名	理事長・園長	氏名	北川聡子	選任届出年月日	2015年4月17日		

### (2) 非常災害に対する訓練の状況

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月1回	12回		管理者・児童発達支援 管理者・保育士・児童指導員	18名	
クラス会議	週1回	168回		管理者・児童発達支援 管理責任者・保育士・児童指導員	15名	クラスごとに開催(3~4名)
ケースカンファレンス会議	必要時	回		管理者・児童発達支援 管理責任者・保育士・児童指導員	15名	クラスごとに開催(3~4名)
個別支援計画会議	前期 後期	2回		管理者・児童発達支援 管理責任者・保育士・児童指導員	15名	各お子さんに対し年2回実施
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
4/18	研修等で早帰りのご協力の連絡をするなら、年間行事計画等で早くお知らせしてほしい。また、急に決まったものについては、「難しい場合はご相談下さい」等の記載をして、全員が早帰りだけでなく良い旨を、お便りに記載して欲しい。	「ご意見頂いた内容の改善策について」文書を作成、送迎時に父に渡るようにし、改めて謝罪した。
5/28	気温が低かったのに鼻水が出た状態で園庭で遊んでいた。寒そうにしていたら上着を着せてほしかった。以前から薄々感じていたが、子どものことを見ているようで見ていない先生が多いように思う。日中一時は様々な学年が混ざって大変だとは思いますが、預かっている以上しっかりと責任を持ってほしい。	上着を着ることなく園庭へ出してしまったこと、子どもの様子を十分に見ることが出来ていなかったことを謝罪した。他の職員にも伝え、みんなで気を付けていけるよう周知することを伝えた。

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- 発達支援の質を高められるよう、様々な研修計画を作成し、実施した（さくらさくらんぼリズム、エピソード、アセスメント、かくたつリモート研修、愛着障害コンサルテーション、発達等基礎研修、部門別研修、年代別研修等を実施）。
- 新人研修を行ない、実践や知識に繋がる内容を盛り込んで、行なう事が出来た。
- 親子発達支援や事業所内相談支援を通じて、家族の困り感や子どもの発達段階の把握に努めた。その中で必要な支援を考え、連携して制度の利用等に繋げることが出来た。
- 年長クラスについては、保護者との就学先や支援の方向について、今後より細やかなやりとりを必要とすると考えられる。特に、放課後等デイサービスの利用等悩まれている保護者が多いので、子どもに合った支援に繋がれるように丁寧な相談支援が必要である。

### 〔展望〕

- 2025年度は、保期続き児童発達支援センターの中核機能も充実して稼働できるよう体制を整える。  
また、他事業所や幼稚園・保育園との連携を図る。地域の子ども・家族にも支援を充実させる。  
連携先を広げ、実際の訪問や支援に繋がれるよう計画する。
- 個別支援計画は引き続き、五領域の要素を盛り込んで作成していく。その中でも、子ども1人1人に合わせた支援を考え作成し、チームで共有して実行する。
- 日々の活動や行事に子ども・家族が安心参加できるように計画し、場面ごとの支援を細かに考え、実行していく。

## 保育所等訪問支援

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数(継続:1)

##### 〈新規・継続〉

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
東区								1			1		2
計								1			1		2

##### 〈延べ〉

(単位:人)

区市町村	延べ	(新規)
東区	20	
北区	3	
中央区	1	
計	24	

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計								1			1		2

## 2. 支援業務

### (1) 訪問支援計画(個別支援計画)の策定

- ・利用ニーズを把握し、アセスメントを実施し、調整会議を経て計画書を作成した。

### (2) 主な活動

- ・障がい児に対する支援（直接支援：集団生活に適応するための専門支援）を実施した。
- ・訪問先施設の職員に対する支援（間接支援：支援方法等の支援）を実施した。

## 3. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
訪問支援員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	常 勤												
保育士	常 勤												
保育士	非常勤												
合計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

## 4. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 5. 評価と展望

- ・訪問支援のニーズを把握し、アセスメントに基づき、訪問支援を実施した。
- ・ニーズに応じた、支援量の確保が困難。
- ・中核機能（地域支援）との、業務分担、棲み分けが必要。

## 児童デイサービスむぎのこ

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	7	7	8	8	8	9	9	12	12	12	13	14	9.9
北区	3	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5	3.8
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
厚別区													
措置													
計	10	10	11	11	11	12	12	17	17	17	18	19	13.7

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	179	194	213	216	183	219	211	255	264	256	260	279	2729

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者兼児 管	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3
保育士	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
保育士	非常勤	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
作業療法士	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
用務員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計		45	45	45	45	45	45	45	45	46	46	46	46

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(3月・9月)、個別支援計画を作成した
- ・保護者との面接で、子どもや療育への希望の聞き取りを行った
- ・8月・2月にモニタリングを行った
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った

### (2) 主な日中活動

- ・朝の会、リズム、園庭遊び(ターザンロープ、泥遊び、水運び、シート滑り、そり滑り)
- ・設定遊び(粘土遊び、わらべ歌遊び、サーキット、楽器遊び)
- ・制作(季節の制作)

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入園式、お誕生会、カーペンター、避難訓練
5月	遠足、お誕生会、父親参観、避難訓練、
6月	お誕生会、避難訓練
7月	お誕生会、避難訓練
8月	I期終業式、II期始業式、お誕生会、避難訓練
9月	運動会、お誕生会、避難訓練
10月	遠足、お誕生会、カーペンターズ、避難訓練、運動会
11月	お誕生会、避難訓練
12月	もちつき、お誕生会、生活発表会、クリスマス会、II期終業式、避難訓練
1月	III期始業式、お正月会、お誕生会、大避難訓練
2月	豆まき、お誕生会、避難訓練
3月	ひな祭り、お誕生会、避難訓練、III期修了式、卒園感謝会、卒園式

## 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備の総合点検を年2回行い、7月の結果報告書を消防署に届け出をした。
- ・毎月、自主点検を行った。

## 5. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019 年 4 月 1 日
----	------	----	-------	---------	----------------

## (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R6・4・19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・10・18	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・5・17	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・11・15	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・6・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・12・20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・7・19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・1・17	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・8・23	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・2・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・9・20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・3・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週水曜日	50		児童発達支援管理責任者・保育士	4	
個別支援計画会議	年 2 回	2		児童発達管理責任者・保育士	4	
児童発達支援管理責任者会議	月 1 回	1 2		児童発達管理責任者	1	
職員会議	月 1 回	1 2		児童発達管理責任者・保育士	4	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	なし

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・事業所経営：12 月までは利用人数が少なかったが、12 月以降新入園児が増え、安定した利用人数で、運営する事が出来た。
- ・毎月ほぼすべての家庭と面談を行うことができ、手帳の取得やショート of の申請契約など必要な支援につなげることができた。
- ・入口の支援ということでむぎのこでの生活が初めてのお母さんたちがほとんどだったので、行事などの動きや 1 年の流れなどを細かく説明しながら支援を行った。

### 〔展望〕

- ・家族支援では、家族の背景を理解した中で対策を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目、言葉と言葉、心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。改善が必要なところは共有し、どのようにして改善をしていくかをスピード感を持って対応していく。
- ・ハード面で安全を守るための装具の設置や、カーテンの修繕など子どもたちが安心して過ごせるよう、修繕などが必要なところは見つけ次第すぐに対応をしていく。
- ・必要な支援を実際に受けられるまでに間があいてしまわないようにスピーディに対応していく。

## 児童発達支援事業 プレイ

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	10	10	10	11	12	12	11	12	14	14	15	15	11.16
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3.66
白石区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中央区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手稲区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1
計	13	13	13	14	15	15	14	15	16	16	17	17	14.66

## (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	160	175	178	194	167	188	203	227	227	219	208	235	2381

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援 管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
機能訓練担当職員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保育士	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・半期に1度モニタリング・原案作成・個別支援会議・個別支援計画の作成・保護者の説明と同意→ファイリングをして保管を行った。
- ・保護者との面接で、子どもや療育への希望の聞き取りを行った。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

### (2) 主な日中活動

#### 朝の会

#### リズム

園庭（ターザンロープ・鬼ごっこ・プール・水遊び・砂遊び・泥んこ遊び・雪遊び・そり滑り・シート滑り）

公園（遊具・プール・シート滑り・そり滑り）

三角山登山・モエレ山登山・百合が原公園散歩、北大散歩

制作(描画・行事の制作)

設定活動（サーキット・楽器遊び・わらべうた遊び・粘土遊び・劇遊び）

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	始業式 入園式 お誕生会 入園お祝い会 避難訓練 カーペンター
5月	家庭訪問 親子発達支援 父親参観 園医健診 お誕生会 避難訓練 さとらんど遠足
6月	総合避難訓練
7月	海水浴 避難訓練 クッキング
8月	修了式 始業式 避難訓練 お誕生会
9月	運動会総練習 運動会 クッキング 避難訓練 お誕生会 動物園遠足
10月	親子発達支援 クッキング お誕生会 避難訓練 園医健診 歯科健診
11月	



12月	生活発表会総練習 もちつき 大避難訓練 生活発表会 クリスマス会 終業式
1月	始業式 お正月会 避難訓練
2月	豆まき クッキング お誕生会
3月	ひな祭り会、卒園感謝会 避難訓練 修了式

#### 4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器、誘導灯の点検（法定点検年2回）

#### 5. 防災対策

##### (1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	------	---------	-----------

##### (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R6・4・19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・10・18	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・5・17	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・11・15	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・6・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・12・20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・7・19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・1・17	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・8・23	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・2・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・9・20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・3・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>

#### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週木曜	50		児童発達支援管理責任者、保育士、機能訓練担当職員、児童指導員、指導員	5	
個別支援計画会議	年2回	2		児童発達支援管理責任者、保育士、機能訓練担当職員、児童指導員	4	
職員会議	月1回	12		児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員	4	

#### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	なし

#### 8. 評価と展望

##### 〔評価〕

- ・4月から～9月までは人数が少なかった。外活動や設定活動で一人一人に合わせて対応出来た。新入園の家庭が多かったため、家庭訪問を行ったり事業所内相談支援で家庭の様子を聞いたり、困り感に寄り添った。
- ・10月からさらに新入園児が増えて一日の人数も増えて来た。
- ・家族支援が必要な家庭に対して、家族支援を行うことが出来た。
- ・療育の中や、保護者との面談で子どもや家庭をアセスメントして、職員間で情報共有を行い関わった。
- ・虐待防止の練習を毎週1回行い、実際の場面では職員が交代し子どもの安全を守っていった。
- ・

##### 〔展望〕

- ・困り感のある家庭のニーズを面談などで聞き取り、こまめに情報共有を行う。また関係機関と連携して支援を行う。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目、言葉と言葉、心と心で連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・職員が研修に積極的に参加し、様々な学びを深めて支援に活かしていく。
- ・イライラした時には助けを求めすぐに交代するようにして、虐待防止に努めていく。

## セーボネス(児童発達支援事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	12	12	12	13	13	13	14	14	14	14	14	14	13.3
北区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
江別市	1	1	1	1	1								0.4
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置						1	1	1		1	1	1	0.5
計	16	16	16	17	17	17	18	18	17	18	18	18	17.2

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	223	254	255	282	206	249	287	236	257	236	225	248	2958

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者(兼務)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常勤	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
機能訓練担当職員	常勤	1											
保育士	常勤	1											
児童指導員	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
保育士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	4
調理員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		12	11	11	11	11	11	11	11	12	12	13	13

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)、個別支援計画を作成した
- ・保護者との面接で、子どもや療育への希望の聞き取りを行った
- ・8月・2月にモニタリングを行った
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った

#### (2) 主な日中活動

- ・朝の会、リズム、公園遊び（遊具、水遊び、ウォーターライダー、鬼ごっこ等の設定、探索散歩、そり滑り）
- ・設定遊び（劇遊び、転がしドッジボール、大根抜き、はないちもんめ、ハンカチ落とし、フルーツバスケット、お楽しみ会）
- ・園庭（ターザンロープ、水遊び、泥んこ遊び、雪遊び・そり滑り）
- ・お当番、年長活動（給食当番、雑巾掛け、清掃活動、ジャガイモ植え・花の水やり）
- ・制作（卒園制作：描画・鬼のお面制作・縄編み等、季節の制作）
- ・長距離散歩、縄跳び等、身体作りに繋がる活動

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	I期始業式、カーペンター、お誕生会、避難訓練、こいのぼり製作
5月	父親参観、お誕生会、避難訓練
6月	お誕生会、総合避難訓練
7月	お誕生会、避難訓練、お泊り会
8月	お誕生会、避難訓練、I期終了式、II期始業式、芋ほり
9月	運動会、お誕生会、避難訓練、カレークッキング
10月	お誕生会、避難訓練、ハロウィン制作
11月	お誕生会、避難訓練、
12月	お誕生会、大避難訓練、もちつき、生活発表会、クリスマス会、II期終了式
1月	III期始業式、お正月会、父親参観週間、お誕生会、避難訓練
2月	お誕生会、避難訓練、豆まき
3月	お誕生会、避難訓練、ひなまつり会、卒園感謝会、卒園式

## 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備の総合点検を年2回行い、7月の結果報告書を消防署に届け出をした。
- ・毎月、自主点検を行った。

## 5. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家健司	選任届出年月日	令和6年4月1日
----	------	----	------	---------	----------

### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R6・4・19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・10・18	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・5・17	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・11・15	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・6・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・12・20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・7・19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・1・17	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・8・23	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・2・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・9・20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・3・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週金曜日	43回		児童発達支援管理責任者・児童指導員・保育士	4名	
職員会議	第1木曜日	12回		児童発達支援管理責任者・児童指導員	3名	
個別支援計画作成会議	前期・後期	2回		児童発達支援管理責任者・児童指導員	3人	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・事業所経営面：年度初めで職員の退職者があり、加算の変更はあったが、利用人数は安定して受け入れしていた。夏以降は一時保護児童の受け入れも行った。
- ・年長児童中心のクラスであったが、それぞれの児童の特性や家庭背景などをしっかりとアセスメントし、安定した情緒発達の為に自然の中で遊びのびと体を動かしてしっかりと遊び込み、心と体のバランスが整えた。情緒が安定してきた頃に勝負の無いグループ遊びで仲間関係を育て、お互いを認め合い受け入れる関係性を育んだ。
- ・活動はクラス全体のもの、グループ活動、少人数の活動、個別の活動など様々な形で行ない、グループの編成はその時期の児童の様子により行ったり、個別の頻度を調整して関わった。
- ・後期は仲間を支えに自ら挑戦したり、自然に相手を励ましたり、挑戦や成長と一緒に喜び合う心が育っていた。
- ・保護者に対しては個別の面談を行ったり、働いている保護者もグループカウンセリングに参加しやすいように1か月の中で奨励日を設けたり、学校見学などを事業所から出発して保護者同士も仲間意識を持って協力して子育てが出来るような工夫をした。

### 〔展望〕

- ・次年度は1年生の不登校児童を受け入れる。幅広い発達段階や特性があるなかで個々に寄り添い、安心して過ごせる居場所の提供、一つの同級生グループとして互いを意識できるクラスづくりを行っていく。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目心と心を大切に連携してチームで児童の支援に取り組む。
- ・職員研修に積極的に参加し、知識をつけ支援の質を高める。
- ・保護者に対して事業所内面談や日常的な情報共有を行い、児童の状態や家庭での困り感を吸い上げて必要な支援に繋げる。また、保護者同士の横のつながりが出来るように、グループカウンセリングや親子発達支援などの参加を呼びかける。

## スタディ(児童発達支援事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	14	14	14	15	15	15	15	16	18	18	18	18	12.3
計	14	14	14	15	15	15	15	16	18	18	18	16	12.3

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	174	180	188	192	164	202	201	190	210	207	190	190	2298

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者・児童発達管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

指導員	非常勤	2	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4
調理員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	11

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・発達支援プランを、3月・8月・1、2月にアセスメント面接をして、4月・9月に作成、3月に最終評価を作成した。また、途中入園児については随時作成した。
- ・事業所内相談支援を随時行い、保護者の意向や要望を聞き取り、寄り添った支援計画を作成する事に繋がった。
- ・発達支援プランは療育の中で重点的に褒める指針に用い、保護者とも共有しながら支援に活かす事が出来た。

#### (2) 主な日中活動

- ・朝の会、リズム、公園遊び（すべり台設定、水遊び、探索散歩、雪合戦、そり滑り）
- ・設定遊び（大根抜き、粘土遊び、ストップゲーム、音楽遊び、むっくりくまさん）
- ・園庭（ターザンロープ、水運び、泥んこ遊び、雪遊び・シート滑り・そり滑り）
- ・制作（行事の制作）
  - ・モエレ山登山、百合が原公園散策

#### (3) 余暇活動支援（行事・旅行・クラブ活動等）

4月	入園式、お誕生会、カーペンター、避難訓練
5月	家庭訪問、お誕生会、父親参観、避難訓練、遠足
6月	お誕生会、避難訓練、
7月	お誕生会、避難訓練
8月	I期終業式、II期始業式、お泊り会、お誕生会、避難訓練
9月	運動会、お誕生会、避難訓練、三角山登山
10月	遠足、お誕生会、カーペンターズ、避難訓練、運動会、ハロウィン
11月	お誕生会、生活発表会、避難訓練、クッキング
12月	もちつき、お誕生会、クリスマス会、II期終業式、避難訓練
1月	III期始業式、お正月会、お誕生会、大避難訓練
2月	豆まき、お誕生会、避難訓練
3月	ひなまつり、お誕生会、クッキング、避難訓練、III期修了式

### 4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器、誘導灯の点検（法定点検年2回）

### 5. 防災対策

#### (1) 防火管理者の状況

職名	児童指導員	氏名	古家健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	-------	----	------	---------	-----------

#### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
23・4・19	避難・消火・通報・救出・その他	23・10・18	避難・消火・通報・救出・その他
23・5・17	避難・消火・通報・救出・その他	23・11・15	避難・消火・通報・救出・その他
23・6・21	避難・消火・通報・救出・その他	23・12・20	避難・消火・通報・救出・その他
23・7・19	避難・消火・通報・救出・その他	24・1・17	避難・消火・通報・救出・その他
23・8・23	避難・消火・通報・救出・その他	24・2・21	避難・消火・通報・救出・その他
23・9・20	避難・消火・通報・救出・その他	24・3・21	避難・消火・通報・救出・その他

### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・児童発達支援	4人	

				管理責任者・児童指導員・		
クラス会議	毎週木曜	42 回		児童発達支援管理責任者・児童指導員	4 人	
ケースカンファレンス会議	最終木曜	12 回		児童発達支援管理責任者・児童指導員	4 人	
個別支援計画作成会議	前期・後期	2 回		児童発達支援管理責任者・児童指導員	4 人	
管理者会議	月 1 回	12 回		管理者	1 人	
児発管会議	月 1 回	12 回		児童発達支援管理責任者	1 人	
監査・コンプライアンス委員会	年 12 回	12 回		児童発達支援管理責任者	1 人	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・事業所経営：安定した利用人数で、運営する事が出来た。
- ・子ども 1 人 1 人を療育の中でしっかりアセスメントして、グループ SV やクラス会議などで必要な支援や関わりを共通認識のもと行なう事が出来た。
- ・父親参観、親子発達支援、行事に保護者が積極的に参加して家族内の困り感を把握し、様々な支援に繋がっていくことができた。
- ・ほとんどの家庭に対して月 1 回の事業所内相談支援を行う事が出来た。その中で、ヘルパー、相談室やショートステイなどの支援に繋がった。

〔展望〕

- ・困り感のある家庭が今後も多く通園する事が予測されるので、家族の背景を理解した中で対策 を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目心と心、言葉と言葉を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・職員が研修に積極的に参加し、様々な学びを深めて支援に活かしていく。

## 児童発達支援事業 ライラック

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
東区	12	12	13	13	15	15	15	15	15	15	15	15	14.2
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置													
計	13	13	14	14	16	16	16	16	16	16	16	16	15.2

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
--	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	-----	-----	-----	---

人数	226	240	242	254	212	249	274	249	262	237	224	249	2918
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
保育士	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保育士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	非常勤	3	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5
機能訓練担当職員		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		12	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	14

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)、個別支援計画を作成した
- ・保護者との面接で、子どもや療育への希望の聞き取りを行った
- ・8月・2月にモニタリングを行った
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った

### (2) 主な日中活動

- ・朝の会、リズム、公園遊び(遊具、水遊び、探索散歩、シート滑り、そり滑り、モエレ沼公園山登り)
- ・設定遊び(たけのこ一本、おおかみさん、粘土あそび、毛布ブランコ、毛布乗り遊び、わらべ歌遊び、楽器遊び、サーキット、新聞ちぎり、手袋シアター、パネルシアター、エプロンシアター、スケッチブックシアター、ペープサート、椅子取りゲーム、お祭りごっこ)
- ・園庭(ターザンロープ、水運び、泥遊び、雪遊び・シート滑り、そり滑り)
- ・制作(季節の制作、雨の日・雪の日制作、お祭りごっこ制作)
- ・北大散歩、百合が原公園散歩

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	始業式、カーペンター、避難訓練
5月	園医健診、お誕生会、避難訓練、美香保遠足
6月	お誕生会、総合避難訓練、父親参観、クッキング
7月	海水浴、避難訓練
8月	I期終業式、II期始業式、お誕生会、避難訓練、クッキング
9月	運動会総練習、運動会、お誕生会、避難訓練、親子発達支援
10月	動物園遠足、園医検診、お誕生会、避難訓練、クッキング、ハロウィン
11月	生活発表会総練習、避難訓練
12月	生活発表会、お誕生会、クッキング、もちつき、クリスマス会、II期終業式、大避難訓練
1月	III期始業式、お正月会、お誕生会、避難訓練、父親参観週間
2月	豆まき、クッキング、お誕生会、避難訓練、親子発達支援
3月	ひな祭り、卒園感謝会、卒園式、避難訓練、III期修了式

## 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備の総合点検を年2回行った。
- ・毎月、自主点検を行った。

## 5. 防災対策

### (1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	北上 丈生	選任届出年月日	2020年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

### (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R6.4.19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6.10.18	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6.5.17	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6.11.15	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6.6.21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6.12.20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6.7.19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7.1.14	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R7.8.23	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7.2.21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6.9.20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7.3.21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週水曜日	48		児童発達支援管理責任者・児童指導員 保育士	7	
個別支援計画会議	年2回	2		児童発達管理責任者・児童指導員・保育士	4	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12		児童発達管理責任者	1	
職員会議	月1回	12		児童発達管理責任者・児童指導員・保育士	5	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	なし

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・幼稚園の長期休み時は併行通園の子どもを毎日登園を受け入れることが出来た。
- ・子どもと家族をアセスメントし、必要な支援に繋げることが出来た。
- ・個別遊びを取り入れ情緒の安定を図った。
- ・機能訓練担当職員が心理の個別を行った。
- ・怪我をした時には外科病院受診していった。
- ・保護者のヘルプ連絡に対応していった。
- ・watchMePlayを取り入れる事で、個別対応を行うことが出来た。
- ・個別カウンセリング担当職員と連携することで、保護者の困り感の理解を深めることが出来た。

### 〔展望〕

- ・支援が必要な家族に対して、相談室などと連携し、必要なサービスが受けることが出来る様に支援をチームで行う。
- ・個別対応が必要な児に対して、watchMePlayなどの個別の関わりを行ったので、新しいクラスでも行うことが出来る様に引継ぎを行う。
- ・家族の困り感を引き継ぎ、就労を希望する保護者の情報など引き継ぐ。
- ・目と目、言葉と言葉、心と心で連携し、職員同士がコミュニケーションをとりながら、子ども、保護者が安心して育つ環境の中で療育、家族支援を行う。



## シーランチ(児童発達支援事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	16	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	16.4
北区													
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置	2	2	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0.75
計	18	18	17	17	16	16	16	17	17	18	18	18	17.1

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	250	259	246	243	196	227	219	204	232	235	219	248	2778

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	6	6	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7
保育士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	11	11

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)、個別支援計画を作成した
- ・保護者との面接で、子どもや療育への希望の聞き取りを行った
- ・8月・2月にモニタリングを行った
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った

#### (2) 主な日中活動

- ・朝の会、リズム、公園遊び(遊具、水遊び、鬼ごっこ等の設定、探索散歩、雪合戦、そり 滑り)
- ・設定遊び(転がしドッジボール、大根抜き、はないちもんめ、ハンカチ落とし、粘土遊び、フルーツバスケット)
- ・園庭(ターザンロープ、水運び、泥んこ遊び、雪遊び・そり滑り)
- ・お当番、年長活動(給食当番、雑巾掛け、清掃活動、ジャガイモ植え・水やり)
- ・制作(卒園制作: 描画・鬼のお面制作・縄編み等、季節の制作)
- ・長距離散歩等、身体作りに繋がる活動

#### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入園式、Ⅰ期始業式、カーペンター、お誕生会、避難訓練、こいのぼり製作
5月	父親参観、お誕生会、避難訓練
6月	お誕生会、総合避難訓練
7月	お誕生会、避難訓練、お泊り会
8月	お誕生会、避難訓練、Ⅰ期終了式、Ⅱ期始業式
9月	運動会、お誕生会、避難訓練、いもほり
10月	お誕生会、避難訓練、ハロウィン制作、カレー作り
11月	お誕生会、避難訓練、
12月	お誕生会、大避難訓練、もちつき、生活発表会、クリスマス会、Ⅱ期終了式
1月	Ⅲ期始業式、お正月会、父親参観週間、お誕生会、避難訓練
2月	お誕生会、避難訓練、豆まき
3月	お誕生会、避難訓練、ひなまつり会、卒園感謝会、卒園式

#### 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備の総合点検を年2回行い、7月の結果報告書を消防署に届け出をした。
- ・毎月、自主点検を行った。

#### 5. 防災対策

##### (1)防火管理者の状況

職名	児童発達支援管理責任者	氏名	北上丈生	選任届出年月日	平成27年12月26日
----	-------------	----	------	---------	-------------

##### (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R6・4・19	避難・消火・通報・救出・その他	R6・10・18	避難・消火・通報・救出・その他
R6・5・17	避難・消火・通報・救出・その他	R6・11・15	避難・消火・通報・救出・その他
R6・6・21	避難・消火・通報・救出・その他	R6・12・20	避難・消火・通報・救出・その他
R6・7・19	避難・消火・通報・救出・その他	R7・1・17	避難・消火・通報・救出・その他
R6・8・23	避難・消火・通報・救出・その他	R7・2・21	避難・消火・通報・救出・その他
R6・9・20	避難・消火・通報・救出・その他	R7・3・21	避難・消火・通報・救出・その他

#### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週金曜日	50回		児発管・児童指導員・保育士	4名	
職員会議	第1木曜日	12回		児発管・児童指導員	4名	

#### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

#### 8. 評価と展望

##### 〔評価〕

- ・年長ということもあり、活動も公園へ歩いて行ったり、バスや車でお出掛けなど活発に活動をした。ジャガイモを植えて、水やりや収穫も行い、カレークッキングも出来た。
- ・就学のことでお母さんたちとの面談なども行ったが、早い段階でもっとお母さんたちの意向や子どもの気持ちを聞いて面談するなどしていくことが大切だと感じた。お父さんとお母さんの意見が違って、学校をどうするのかなどの話がギリギリまで続いたケースもあった。

- ・就学にあたって、放課後等デイサービスの利用をどうするのかなどの話も、学童の先生と早い段階で、送迎にいくのかなどを確認をして、お母さんたちと話をしていく必要があったが、これも2月や3月などギリギリになってしまった。
- ・きょうだい児が多く、きょうだい児の職員が子どもたちと自助グループを行い、子どもの気持ちを聞いたり、子どもが話せる場を作ることが出来た。自分の我慢している気持ちや障害が重い兄弟のことを話をする事が出来た。
- ・コロナも明けたため、お母さんたちとのランチ会を行うことが出来た。

#### 〔展望〕

- ・次年度も年長のクラスになる予定なので、今年度は、4月からお母さんたちから、就学についての意向を聞いたり、学校見学や放課後等デイサービスの利用について話をし、3月には母子ともに安心して卒園出来るように、寄り添っていききたい。面談なども月に1回行い、お母さんとのより良い関係を築いていけるようにする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組み、情報共有を密にしていこうとする。
- ・子どもたちと楽しく元気に活動が出来るように、子どもたちの意見も大事にし、活動を決めたり、やりたいことを実現できるようにする。
- ・お母さんたちの横のつながりが出来るように、グルカンや親子発達支援、ランチ会などを行うようにする。

## ヨシア(児童発達支援事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
北区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
計	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	239	249	231	276	212	234	244	223	244	228	199	224	2803

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
指導員	非常勤	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
機能訓練担当職員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員				1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		10	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・発達支援プランを、3月・8月・1、2月にアセスメント面接をして、4月・9月に作成、3月に最終評価を作成した。
- ・事業所内相談支援を随時行い、保護者の意向や要望を聞き取り、寄り添った支援計画を作成する事に繋げた。
- ・発達支援プランは療育の中で重点的に褒める指針に用い、保護者とも共有しながら支援に活かす事が出来た。

(2) 主な日中活動

- ・朝の会、リズム、公園遊び（遊具、水遊び、鬼ごっこ等の設定、探索散歩、シート滑り、そり滑り）
- ・設定遊び（ドッジボール、大根抜き、王様、しっぽとり、ハンカチ落とし、粘土遊び、布乗り遊びなど）
- ・園庭（ターザンロープ、水運び、泥んこ遊び、雪遊び・そり滑り）
- ・お当番、年長活動（雑巾掛け、清掃活動、ジャガイモ植え・水やり、給食当番）
- ・制作（卒園制作：描画・鬼のお面制作・縄編み等、季節の制作）
- ・長距離散歩等、身体作りに繋がる活動

(3) 余暇活動支援（行事・旅行・クラブ活動等）

4月	入園式、カーペンター、避難訓練
5月	家庭訪問、お誕生会、遠足、避難訓練、芋植え
6月	お誕生会、父親参観、避難訓練、
7月	お泊り会、避難訓練
8月	I期終業式、II期始業式、避難訓練、芋ほり
9月	運動会、お誕生会、避難訓練、カレークッキング、三角山登山
10月	遠足、お誕生会、カーペンター、避難訓練、運動会、ハロウィン
11月	お誕生会、生活発表会、避難訓練、クッキング
12月	もちつき、お誕生会、クリスマス会、II期終業式、大避難訓練
1月	III期始業式、お正月会、お誕生会、避難訓練
2月	豆まき、お誕生会、避難訓練
3月	ひなまつり、卒園感謝会、避難訓練、III期修了式、卒園式

4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器、誘導灯の点検（法定点検年2回）

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	児童指導員	氏名	北上 丈生	選任届出年月日	H27. 12. 26
----	-------	----	-------	---------	-------------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R6・4・19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・10・18	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・5・17	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・11・15	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・6・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・12・20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・7・19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・1・14	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・8・23	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・2・14	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・9・20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・3・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員	4人	
クラス会議	毎週火曜	42回		児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員	5人	
ケースカンファレンス会議	必要時	3回		児童発達支援管理責任者・保育士	4人	
個別支援計画作成会議	前期・後期	2回		児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員	4人	
児発管会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1人	
コンプライアンス委員会	年12回	12回		児童発達支援管理責任者	1人	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・子ども1人1人の育ちの背景を汲み取り、スペシャルニーズのあるお子さんは小グループや個別に関わるなど配慮をしながら療育を行った。
- ・家族支援として、グループカウンセリングへの参加に繋げたり、ニーズのある保護者は個別カウンセリングにつなげた。また、大変な家庭には家につけたり、ショートステイやヘルパーなど制度の利用に繋げる等の支援に繋げた。
- ・就学に向けて、不安を聞き、一緒に教育相談に行くなど支援を行った。また、学校への引継ぎを行った。

〔展望〕

- ・スペシャルニーズのあるお子さんが多いクラスだった為、放課後等デイサービスに移行後も手厚い継続した支援を行う為に、引継ぎをしっかり行い、今後もサポートしていく必要がある。
- ・引き続き子どもの安全を一番に職員同士が目と目、言葉と言葉、心と心で連携していく。
- ・職員が研修に参加して、知識や専門性を高めて、より良い療育を提供していけるように心がける。

## ライオン(児童発達支援事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	14	14	15	15	16	17	17	16	16	16	16	16	14.4
北区	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	2.6
西区													
南区													
白石区						1	1	1	1	1	1	1	0.6
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置						1							
計	16	16	17	17	18	21	21	20	20	20	20	20	18.9

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	213	224	210	227	260	249	258	238	248	236	222	226	2810

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者													
児童発達支援管理責任者兼管理者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2
指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2

指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1					
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
機能訓練担当職員	常 勤	1	1	1	1	1	1						
合 計		10	10	10	10	10	9	8	8	8	8	8	9

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回、個別支援計画の作成を行い、保護者への説明と同意を実施した。個別支援計画の策定に必要なモニタリングシート・原案・個別支援会議録・個別支援計画は、ファイリングして保管している。また、保護者に控えを配布している。
- ・事業所内相談支援を随時行い、保護者の意向や要望を聞き取り、寄り添った支援計画を作成する事に繋げた。
- ・発達支援プランは療育の中で重点的に褒める指針に用い、保護者とも共有しながら支援に活かす事が出来た。

#### (2) 主な日中活動

- ・朝の会、リズム、公園遊び（遊具、水遊び、鬼ごっこ等の設定、探索散歩、そり滑り）
- ・設定遊び（たけのこ一本、粘土遊び、エプロンシアター、スケッチブックシアター、モフブランコ、いわしこいこい）
- ・園庭（ターザンロープ、水運び、泥んこ遊び、雪遊び・そり滑り・シート滑り）
- ・制作（こいのぼり、ハロウィン、豆まき、ひなまつり等、季節の制作）
- ・プール、三角山登山、長距離散歩等、身体作りに繋がる活動

#### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入園式、Ⅰ期始業式、お誕生会、カーペンター、避難訓練
5月	お誕生会、父親参観、避難訓練、
6月	お誕生会、総合避難訓練、遠足
7月	お誕生会、避難訓練、海水浴、クッキング
8月	Ⅰ期終業式、Ⅱ期始業式、お誕生会、避難訓練
9月	運動会、お誕生会、避難訓練、クッキング
10月	遠足、お誕生会、クッキング、カーペンター、避難訓練
11月	お誕生会、避難訓練、
12月	もちつき、生活発表会、お誕生会、大避難訓練クリスマス会、Ⅱ期終業式
1月	Ⅲ期始業式、お正月会、お誕生会
2月	豆まき、お誕生会、避難訓練、クッキング
3月	ひなまつり、お誕生会、避難訓練、Ⅲ期修了式

### 4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器、誘導灯の点検(法定点検年2回)

### 5. 防災対策

#### (1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

#### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
24.04.19	避難・消火・通報・救出・その他	24.10.18	避難・消火・通報・救出・その他
24.05.17	避難・消火・通報・救出・その他	24.11.15	避難・消火・通報・救出・その他
24.06.21	避難・消火・通報・救出・その他	24.12.20	避難・消火・通報・救出・その他
24.07.19	避難・消火・通報・救出・その他	25.01.17	避難・消火・通報・救出・その他
04.08.23	避難・消火・通報・救出・その他	24.02.21	避難・消火・通報・救出・その他
24.09.20	避難・消火・通報・救出・その他	24.03.21	避難・消火・通報・救出・その他

### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		児童発達支援管理責任者・児童指導員・保育士・機能訓練担当職員	4名	
クラス会議	毎週火曜	48回		児童発達支援管理責任者・児童指導員・保育士・機能訓練担当職員	4名	
ケースカンファレンス会議	必要時	1回		児童発達支援管理責任者・児童指導員・保育士	4名	
個別支援計画作成会議	前期・後期	2回		児童発達支援管理責任者・児童指導員・保育士	4名	
児発管会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・クラスの構造化を行い、見通しを持って過ごせるように環境を設定した。
- ・子どもの特性に合わせて、朝の会の絵本を選んだり、スケッチブックシアターなど子どもが楽しめる設定活動を行った。
- ・朝の会、リズム、園庭を基本とし、公園やお出かけなど行った。
- ・子どもの状態に合わせて個別での関わりを必要に応じて取り入れた。
- ・集団活動の中でも、個別の関わりを大切に、大人との愛着関係・安心感を形成できるように肯定的に関わっていった。
- ・親子発達支援、事業所内相談支援を行い、家族支援に繋げていった。
- ・電話が苦手な保護者にはメールで対応した。
- ・要保護家庭には送迎時に担任が行く等、対応を行った。

### 〔展望〕

- ・構造化や職員連携し、安心して過ごせるクラスづくりを行う。
- ・事業所内相談支援や電話連絡で、保護者とのやりとりを行い、困り感をキャッチし解決に繋げていく。
- ・職員が研修に積極的に参加し、専門性を高めていく。

## むぎのこ保育園(企業主導型保育園)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	26	26	27	27	27	29	29	28	28	28	29	30	27.8
北区	4	4	4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	3
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
南区													
白石区													
豊平区													
中央区	1	1	1	1	1	1							1
清田区								1	1	1	1	1	1
措置													
計	32	32	33	32	32	34	33	33	33	32	33	34	33.8

## (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	599	580	567	619	502	590	678	622	579	561	522	578	6997

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務	非常勤	6	6	6	7	8	8	8	8	4	4	4	4
子育て支援員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	7	7	7	7
調理員	非常勤	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保育士	常 勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
保育士	非常勤	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
合計		24	24	24	25	24	25	25	25	25	25	25	25

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・毎月月間個別指導計画作成・評価を行う。
- ・グループカウンセリングや個人面談をおこない。保護者との

### (2) 主な日中活動

- ・朝の会・リズム・散策散歩・公園遊び(遊具・水遊び・雪遊び・シート滑り・そり滑り)
- ・園庭遊び(ターザンロープ・水遊び・プール遊びなど)
- ・設定遊び(毛布ブランコ・布乗り遊び・音楽遊び・わらべうた遊び・サーキット・王様)
- ・山登り・アート(描画・季節の制作・折り紙)

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入園式・始業式・お誕生会・カーペンター・避難訓練
5月	遠足・お誕生会・避難訓練・父親参観週間
6月	お誕生会・避難訓練
7月	お誕生会・避難訓練・お泊り会
8月	終業式・始業式・お誕生会・避難訓練
9月	お誕生会・避難訓練・クッキング
10月	運動会・秋の遠足・お誕生会・避難訓練
11月	お誕生会・避難訓練・クッキング
12月	生活発表会・餅つき・クリスマス会・お誕生会・終了式・避難訓練
1月	始業式・お正月会・お誕生会・避難訓練
2月	豆まき・お誕生会・避難訓練
3月	ひな祭り会・卒園感謝会・卒園式・お誕生会・終了式・お誕生会・避難訓練

## 4. 施設設備管理業務

・  
・

## 5. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名	児童指導員	氏名	古家健司	選任届出年月日	令和6年4月18日
----	-------	----	------	---------	-----------



## (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・18	避難・消火・通報・救出・その他	2024・10・17	避難・消火・通報・救出・その他
2024・5・16	避難・消火・通報・救出・その他	2024・11・21	避難・消火・通報・救出・その他
2024・6・16	避難・消火・通報・救出・その他	2024・12・19	避難・消火・通報・救出・その他
2024・7・11	避難・消火・通報・救出・その他	2025・1・9	避難・消火・通報・救出・その他
2024・8・27	避難・消火・通報・救出・その他	2025・2・20	避難・消火・通報・救出・その他
2024・9・19	避難・消火・通報・救出・その他	2025 3・13	避難・消火・通報・救出・その他

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
合同職員会議	毎月	12回	5回	管理者・保育士	4名	
クラス会議	毎週金曜日	50回		管理者・保育士	4名	
防災委員会	毎月	12回		保育士	1名	
給食委員会	毎月	12回		保育士	1名	
虐待防止委員会	毎月	12回		管理者	1名	
苦情解決委員会	毎月	12回		管理者	1名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
4月10日	松田実結生さん・園庭遊びで靴が汚れてしまったこと。汚れた靴を袋に入れていたがその袋をカバンに入れたこと	今後は裸足で遊ぶこと。汚れた靴はカバンに入れないこと
7月1日	村上つぐみくん・園でおむつをとりかえてもらえずにおしりが荒れてしまった。	15時送迎で帰宅するまで汚れていないことは確認していたが、送迎車の中でかなりの量してしまい、そのまま帰ったことが原因かわからないが15時まで出ていない時には家庭への連絡を取っていく。

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・企業主導型保育事業として9年目を迎える。4月より32名よりスタートしたが3月には34名と定員に達している。定員余裕型で毎月コンスタントに一時利用もあった。
- ・今年度は0歳児から5歳児までのクラス編成であり、年中・年長児は事業クラスとの並行通園で各クラスとも事業クラスと交流をしたり、縦割りでの活動ができている。美香保整枝園との並行通園の子もいるので各事業所と連絡・連携をして支援できた。
- ・毎月の身体測定のを継続的に実施し、子どもの健康状態や発達の把握に努めた。日誌において、毎日、活動の狙いや子どもの姿を記録し、保育の質の向上に努めた。
- ・安心・安全対策として日々の0,1歳児の5分ごとの睡眠チェック、2歳以上の10分ごとのチェックなどを行い、SIDの予防に努めることができた。人数確認や安全チェック表、送迎チェック業務などを行った。
- ・それぞれの年齢に応じた園庭遊び、公園遊びを積極的に行ない、体づくりや自然体験を行った。設定遊びなどを工夫し、基本のSCALEで子どもたちを肯定的に関わることができた。
- ・毎日の連絡月一回の保護者とのグループカウンセリングを開催して保護者の困り感、兄弟児としての子どもへの対応などを伝えることが出来ている。3月にはランチ会も開催できた。
- ・保護者との個人面談も行っている。きょうだい児クラスとの家族連携会議にも都度参加している。
- ・企業主導型保育施設長研修やキャリアアップ研修、救命救急講習などを積極的に受講し保育の質の向上や安全な保育体制がしっかり行えるようにした。

育成協会と子ども未来局の立ち入り調査に向けてしっかりと書類を整備でき、指摘事項なく終わった

### 〔展望〕

- ・個別の健康記録の見直しを図り、発育、発達を細やかに見ていく。引き続き、グループカウンセリングで保護者とのコミュニケーションを取り兄弟児クラスとの連携を図り親子支援を行なっていく。さらに個人面談を計画

に組み入れていく。

- ・安全点検とリスクマネジメントをさらに強化し、安心して活動できる環境を整えていく。
- ・安全計画に基づいて人数確認、避難訓練、不審者対応、アレルギー対応などの安全研修をしっかりと行い、安全、安心の保育所運営をする。
- ・事業所の運営について人事、経理とも連携を深めていく。
- ・内部研修・育成協会、未来局の外部研修を積極的に受けていく。
- ・育成協会と子ども未来局の立ち入り調査に向けて書類を整備していく。

札幌市みかほ整肢園（医療型児童発達支援センター）〈指定管理〉
--------------------------------

※ 書式が異なるため別紙参照

### Ⅲ 学童部門

#### プレイ(放課後等デイサービス)

##### 1. 施設利用状況

###### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
北区	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2.5
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置													
計	16	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	17	16.5

###### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	232	231	228	232	205	227	259	240	249	214	206	233	2756

##### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童発達支援 管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保育士	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

6 6

##### 3. 支援業務

###### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

###### (2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習(宿題・学びの時間)、スキル練習、園庭、公園遊び、帰りの会
- ・設定活動(リズム、大縄跳び、転がしドッジボール、風船バレー、音楽遊び、鬼ごっこ、お店屋さんごっこ、映画館ごっこ、学校ごっこ等)
- ・制作、室内活動(ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、プラ板、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等)

###### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動)

- ・運動会・発表会・中小屋小学校活動・クッキング

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
----	-----------------------

5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	クリスマス会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

#### 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

#### 5. 防災対策

##### (1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

##### (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・10・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・5・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・11・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・6・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・12・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・7・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・1・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・8・23	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・2・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・9・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・3・14	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

#### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週月曜日	50回	0回	児発管・児童指導員・保育士	3名	
ケースカンファレンス	毎週月曜日	50回		児発管・指導指導員音楽療法士	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員・保育士	3名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・保育士	3名	

#### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

#### 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・1年生の事業所のため、クラスで安心してその子らしさが出せるように信頼できる関係性を築けるように肯定的に関わった。
- ・毎日学びの時間を設定し、楽しく学べるように工夫した。ホワイトボードや教材を使って関心を持って参加出来るようにクラス職員で話し合い、子ども達が苦手意識を感じずに参加出来るようにした。

- ・話し合いの場を多く持ち、一人一人が考えたり、自分の考えを言う時間を持った。
- ・室内でのサッカー・ドッジボール・バレーボール等を通してルールを理解する、負けも受け入れる事等を予防しながら進めた。
- ・日々スキル練習を行い、実際の場面でどのように行動したらよいのか教えていった。
- ・スリーヒントクイズやなぞなぞなどを子ども達同士で出し合うことで、前に出て話す事への抵抗が少なくなるように工夫した。

#### 〔展望〕

- ・子ども一人一人の気持ちに寄り添った支援を引き続き行う。
- ・構造化をしっかりと行い、子どもたちが安心してわかりやすく活動に参加できるように考える。
- ・事業所内相談を定期的に行い、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

## スタディ(放課後等デイサービス)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	9	8	8	10	9	8	8	8	9	9	8	10	8.6
北区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	2.6
手稲区													
措置													
計													

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	178	208	196	218	210	210	247	200	206	201	188	208	2470

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童発達支援 管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
機能訓練指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。

- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

## (2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習（宿題・学びの時間）、スキル練習、公園活動、帰りの会
- ・設定活動（椅子取りゲーム、大縄跳び、リズム、ドッジボール、鬼ごっこ、お店屋さんごっこ、キャンプごっこ等）
- ・制作、室内活動（ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、プラ板、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等）

## (3) 余暇活動支援（行事・旅行・クラブ活動等）

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	クリスマス会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

## 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

## 5. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2022・4・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2022・10・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2022・5・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2022・11・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2022・6・16	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2022・12・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2022・7・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・1・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2022・8・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・2・16	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2022・9・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・3・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週月曜日	50回	0回	児発管・児童指導員・保育士・指導員	4名	
ケースカンファレンス	毎週月曜日	50回		児発管・児童指導員指導員	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員指導員	3名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・指導員・保育士	4名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
4.28	友達に筆箱を壊された。	弁償を申し出る
10・5	友達との喧嘩で左腕に赤みがあり心も傷ついている	家庭訪問し謝罪。クラスで心のケア
1.12	友達に歯並びに関する悪口を言われた。	家庭訪問し謝罪。クラスで学活し、個別で心のケア

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・養護学校に通っている子中心の子どもたちだが少しでも出来たところを効果的に褒めていった。・ 楽しくまた、実感を持てるように心がけた。
- ・お母さんとも事業所内や送迎等で成長した所を話していき楽しめるようにしていった。
- ・家庭で大変なところは送迎等で家庭訪問していきながら家族支援していく。
- ・ヘルパーや、ショートとも連携して安心して生活できるように応援する。

〔展望〕

- ・子ども一人一人の気持ちに寄り添った支援を引き続き行う。
- ・構造化をしっかり行い、子どもたちが安心してわかりやすく活動に参加できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を定期的に行い、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。
- ・アレルギー対策をマニュアルに基づいて確実に言い、子どもの命を守る。

## ライオン(放課後等デイサービス)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
北区	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7.91
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置	3	3	3	3	4	4	4	4	3	3	3	3	3.33
計	33	33	33	33	34	34	34	34	33	33	33	32	33.3

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	269	298	299	304	260	274	314	366	290	259	235	239	3407

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童発達支援 管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
音楽療法士	常 勤												
合 計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回（4月・10月）個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

#### (2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習（宿題・学びの時間）、スキル練習、園庭、公園遊び、帰りの会
- ・設定活動（リズム、大縄跳び、転がしドッジボール、風船バレー、音楽遊び、鬼ごっこ、お店屋さんごっこ、映画館ごっこ、学校ごっこ等）
- ・制作、室内活動（ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、プラ板、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等）

#### (3) 余暇活動支援（行事・旅行・クラブ活動）

- ・運動会・発表会・中小屋小学校活動・クッキング

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	クリスマス会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

### 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

### 5. 防災対策

#### (1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

#### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・10・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・5・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・11・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・6・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・12・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・7・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・1・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・8・23	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・2・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・9・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・3・14	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数	参加職種	参加	参考事項
-----	-------	------	------	----	------



		定例	臨時		人数	
クラス会議	毎週月曜日	50回	0回	児発管・児童指導員・保育士	3名	
ケースカンファレンス	毎週月曜日	50回		児発管・指導指導員音楽療法士	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員・保育士	3名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・保育士	3名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・1年生のため環境の変化が多い年である、子ども達が気持ちを発散できるように遊びを中心に取り組んでいった。1日2回外活動が出来る時には積極的に取り入れていった。
- ・親子発達の振り返りから、月曜日はリフレッシュデーとして宿題は事業所か、家で行うが選択できるようにし、遊びの時間を多く設けていった。
- ・木曜日は女の子を中心にバレエの活動にも参加していった。
- ・学びの時間は1月から始め、子ども達の考える時間、意見を伝える時間、友達の意見を聞く時間になるように1年生の復習から行っていった。また、保護者からも取り組んで欲しい内容を取り入れながら進めていった。
- ・こどもたちから「やってみたい!」という活動を出来る限り取り入れるように職員が協力していった。
- ・お茶会も設定し、子ども達が自由に話をできる機会も作っていった。
- ・日々スキル練習を行い、実際の場面でどのように行動したらよいのか教えていった。
- ・友達同士の繋がりも出来、話し合いながら活動を楽しむ姿が増えていった。

### 〔展望〕

- ・子ども一人一人の気持ちに寄り添った支援を引き続き行う。
- ・構造化をしっかりと行い、子どもたちが安心してわかりやすく活動に参加できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を定期的に行い、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・物の忘れ物が多かったため、物の置き場を構造化していく。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

## ライラック(ライラック第2, 3単位)(放課後等デイサービス)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19.1
北区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													

手稲区													
措置													
石狩市													
計	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23.1

## (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	240	243	247	260	210	230	286	233	255	235	206	212	2857

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常 勤												
児童発達支援 管理責任者	常 勤												
管理者兼児童 発達支援管理 責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
その他従業者	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

### (2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習(宿題・学びの時間)、スキル練習、公園活動(野球、サッカーなど)、帰りの会
- ・設定活動(大縄跳び、ドッジボール、鬼ごっこ等)
- ・制作、室内活動(ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等)
- ・クッキング

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	避難訓練
6月	父親参観、避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、カヤック体験、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	学童生活発表会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、大避難訓練
2月	豆まき、父親参観週間、避難訓練
3月	卒業式、修了式、避難訓練

## 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

## 5. 防災対策

### (1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	北上 丈生	選任届出年月日	平成 27 年 12 月 26 日
----	------	----	-------	---------	-------------------

### (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・10・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・5・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・11・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・6・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・12・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・7・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・1・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・8・23	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・2・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・9・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・3・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

## 6. 諸会議の開催

会議名人数	定例開催日 参考事項	開催回数		参加職種	参加	
		定例	臨時			
クラス会議	毎週金曜日	49 回	0 回	児発管・保育士・児童指導員・	3 名	
ケースカンファレンス	毎週金曜日	42 回		児発管・保育士・児童指導員・	3 名	
個別支援計画会議	年 2 回	2 回		児発管・保育士・児童指導員・	3 名	
児童発達支援管理責任者会議	月 1 回	12 回		児発管	1 名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	無し	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・登園から活動までの、フロント、宿題、室内遊びの流れを決め、構造化したことで、子どもたちがいま何ができて何ができないのか、こちらで発達を見ながら、見通しをもって自立して行動することができた。
- ・一日の流れを意識して、宿題をする子、必ず宿題のある学校があるので、声掛けをして、自宅での負担を減らし、学校での疲れやストレスをいやせるように、職員が意識して、お話をする時間をとる。特に、女の子の4、5年生は、気持ちの変化が大きく、友達との人間関係も難しくなりがちなので、女性職員には細かく女の子の話を聞いて貰うようにした。
- ・女子会や男子会を行い、子ども達の話のできる環境を設定し、大人が作った枠組みのなかで、子どもたちが自発的に気持ちを話し、意見を出すことが出来た。また、「きょうだいがいる」という共通項で小グループを作り、話し合いが活発に行われた。きょうだいの中には重度の障害を持った子どももあり、普段話す機会がないことも話すことができた。
- ・学びの時間を後期は定期的に行う事ができ、普段とは異なる子ども達の姿が見られた。
- ・支笏湖でのカヤック体験も子どもたちに大きな影響を与える。自然環境の大きさや水の冷たさ、蜂やアブの怖さなど、札幌にいたとなかなか体験できないことばかりで、その中でも生き生き活動できる子供たちの生きる強さをあらためて、感じる事が出来た。

### 〔展望〕

- ・上司とのセットアップ、フィードバックをより円滑に行い、GSV などからチームで共有しながら、さらにどうしたらよいのかを常に良い環境、関わりを試行錯誤し、クラスを運営していく。
- ・不登校の子どもへの支援として、人権意識をもって、弱い立場の方への権利擁護を行っていく。自宅訪問など、保護者との連携もしながら、関わる。
- ・保護者に対して、グループカウンセリング、CSP への参加を促し、社会スキルが身に着くように家庭と事業所で連

- 携を取り、共通した関わりに繋げていく。
- ・構造化を考え、静かに安全な環境づくりを継続していく必要がある。

## ルーミー(ライラック第4, 5単位)(放課後等デイサービス)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	18	18	18	18	18	18	18	18	19	19	19	19	18.3
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置	3	3	3	2	2	2	2	3	3	2	2	2	15.3
石狩市													
計	23	23	23	22	22	22	22	23	24	23	23	23	22.8

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	250	257	261	257	212	217	274	235	246	234	203	206	2852

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援 管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
その他従事者	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

#### (2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習(宿題・学びの時間・性教育)、スキル練習、公園遊び、帰りの会
- ・設定活動(ドッジボール、風船バレー、鬼ごっこ等)
- ・制作、室内活動(ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等)
- ・クッキング

#### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	避難訓練
6月	父親参観、避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、カヤック体験、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	学童生活発表会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、大避難訓練
2月	豆まき、父親参観週間、避難訓練
3月	卒業式、修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	北上 丈生	選任届出年月日	平成 27 年 12 月 26 日
----	------	----	-------	---------	-------------------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・10・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・5・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・11・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・6・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・12・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・7・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・1・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・8・23	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・2・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・9・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・3・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週金曜日	50回	0回	児発管・保育士・児童指導員・	3名	
ケースカンファレンス	毎週金曜日	50回		児発管・保育士・児童指導員・	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・保育士・児童指導員・	3名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児発管	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・保育士・児童指導員・	3名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

8. 評価と展望

- 〔評価〕
- ・1日の流れを構造化し子ども達は見通しを持って行動できることが増えていった。
  - ・夏休みには中小屋小学校での活動やカヤック体験を行った。
  - ・子ども同士のトラブルがあったときは大人が気持ちを聞いて、解決に向けてどうすればよいかを話し合い一緒に考えた。話し合いを通して子どもたちが自分の気持ちを言葉で表現できることが増えた。
  - ・兄弟の会を行い、重度の障害のある兄弟児がいる子どもたちが素直に気持ちを話すことができていた。

- ・面談や電話連絡を通して保護者に困り感を聞くなど支援を行う事が出来た。
- ・より細やかな支援が必要な子どもに対して個別活動を取り入れるなど、子ども達の気持ちに寄り合い配慮して関わった。

〔展望〕

- ・GSV などからアドバイスをもらい、どうしたらよいのかを常に考え、子ども一人一人の気持ちに寄り添った支援や関わりを考えていく。
- ・同学年のクラスとの横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化を維持するために見直しを定期的に行い、子どもたちがわかりやすく落ち着ける環境づくりを継続していく。
- ・引き続き面談などの家族支援を通して保護者の思いに寄り添うと共に共通理解を持って子どもの支援を行えるように努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないようにみんなでチェックし揃える。

## スプリング(放課後等デイサービス)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
手稲区													
措置													
計	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	200	229	203	211	168	188	227	191	205	188	173	190	2373

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童発達支援管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
機能訓練職員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習（宿題・学びの時間）、スキル練習、園庭、公園遊び、帰りの会
- ・設定活動（リズム、大縄跳び、転がしドッジボール、風船バレー、音楽遊び、鬼ごっこ、お店屋さんごっこ、映画館ごっこ、学校ごっこ等）
- ・制作、室内活動（ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、プラ板、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等）

(3) 余暇活動支援（行事・旅行・クラブ活動）

- ・運動会・発表会・中小屋小学校活動・クッキング

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	クリスマス会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・10・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・5・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・11・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・6・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・12・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・7・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・1・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・8・23	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・2・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2023・9・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・3・14	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週月曜日	50回	0回	児発管・児童指導員・保育士	3名	
ケースカンファレンス	毎週月曜日	50回		児発管・指導指導員音楽療法士	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員・保育士	3名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・保育士	3名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・1年生のため環境の変化に慣れることから始まり、変更にもなれるようになってきた。子ども達が気持ちを発散できるように遊びを中心に組み込んでいった。
- ・大人と遊ぶ時間を多く持つことで安心して気持ちを話せるようになってきた。
- ・日々スキル練習を行い、実際の場面でどのように行動したらよいのか教えていった。
- ・友達同士の繋がりも出来、話し合いながら活動を楽しむ姿が増えていった。

〔展望〕

- ・子ども一人一人の気持ちに寄り添った支援を引き続き行う。
- ・構造化をしっかり行い、子どもたちが安心してわかりやすく活動に参加できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を定期的に行い、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

## ハイジ(放課後等デイサービス)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	21	21	21	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21.75
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置													
石狩市													
計													

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	247	261	260	277	210	235	293	241	251	232	195	236	2938

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援 管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
管理者兼児童 発達支援管理 責任者	常 勤												
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1



児童指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
その他従業者	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回（4月・10月）個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

#### (2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習（宿題・学びの時間）、スキル練習、公園活動（野球、サッカーなど）、帰りの会
- ・設定活動（大縄跳び、ドッジボール、鬼ごっこ等）
- ・制作、室内活動（ぬり絵、折り紙、季節にあった制作、工作、スライム、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等）
- ・クッキング

#### (3) 余暇活動支援（行事・旅行・クラブ活動等）

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	避難訓練
6月	父親参観、避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、カヤック体験、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	学童生活発表会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、大避難訓練
2月	豆まき、父親参観週間、避難訓練
3月	卒業式、修了式、避難訓練

### 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

### 5. 防災対策

#### (1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	北上 丈生	選任届出年月日	平成 27 年 12 月 26 日
----	------	----	-------	---------	-------------------

#### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・10・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・5・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・11・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・6・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・12・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・7・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・1・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・8・23	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・2・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・9・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・3・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

### 6. 諸会議の開催

会議名人数	定例開催日 参考事項	開催回数		参加職種	参加	

		定例	臨時			
クラス会議	毎週金曜日	49 回	0 回	児発管・保育士・児童指導員・	3 名	
ケースカンファレンス	毎週金曜日	42 回		児発管・保育士・児童指導員・	3 名	
個別支援計画会議	年 2 回	2 回		児発管・保育士・児童指導員・	3 名	
児童発達支援管理責任者会議	月 1 回	12 回		児発管	1 名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	無し	

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・登園から活動までの、フロント、宿題、室内遊びの流れを決め、構造化したことで、子どもたちが見通しをもって自立して行動することができた。また、職員も子どもたちに次の行動を促しやすくなり、導線など動きがスムーズになった。
- ・一日の流れを意識して、宿題をする子には声掛けをして、必要に応じて個別対応していった。学校での疲れやストレスをいやせるように、小集団をつくり、その中で気持ちを発散できるように設定していった。きょうだいがいる子どもだけで小集団をつくり、きょうだい児に重度の障害のある子どもで話し合うことができた。普段言えないことも安心した環境のなかで気持ちを話すことができた。
- ・子ども達が話をできる環境を設定し、大人が作った枠組みのなかで、子どもたちが自発的に気持ちを話し、意見を出すことが出来た。
- ・音楽を毎日を行い、ミーティングで歌をうたい、音楽を日々身近に感じる事ができた。
- ・学びの時間は定期的に行う事ができ、性教育は毎週水曜日固定で行っていった。
- ・支笏湖でのカヤック体験も子どもたちに大きな影響を与える。自然環境の大きさや水の冷たさ、蜂やアブの怖さなど、札幌にいるとなかなか体験できないことばかりで、その中でも生き生き活動できる子供たちの生きる強さをあらためて、感じる事が出来た。

〔展望〕

- ・チームで支援が出来るように情報共有し、上司とも連絡、相談を繰り返し行っていく。
- GSV、個別SVを行い、さらにどうしていけばよいのかを話し合いながら、クラスを運営していく。
- ・不登校の子どもへの支援として、学校へ行けない子どもの心情に寄り添いながら、また、学習も保障していく。必要に応じて自宅訪問など、保護者との連携もしながら支援していく。
  - ・保護者に対して、グループカウセリング、CSP への参加を促していく。
- 家庭と事業所で連携を取り、共通した関わりに繋げていく。家族支援をチームで行っていく。

## トウモロー(放課後等デイサービス)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4 月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	17	17	17	14	14	14	14	14	14	14	14	14	15
北区	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置													

計	19	19	19	16	16	16	16	16	16	16	16	16	17
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

## (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	287	298	311	393	339	338	355	364	372	327	355	363	4102

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
機能訓練担当職員	非常勤	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	非常勤		1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計		11	13	13	14	14	14	14	14	14	13	13	13

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・発達支援プランは年2回（4月、10月）に作成した。
- ・面接などで保護者の意向や要望などの聞き取りを行った。
- ・個別支援計画を保護者に個別に説明して同意を得た。
- ・半年間モニタリングを行い、評価した。

### (2) 主な日中活動

- ・朝の会・スキル練習・リズム・設定遊び(トランポリン・縄跳び)・長距離散歩
- ・山登り・そり滑り・音楽遊び・制作・個別学習

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、始業式、カーペンター避難訓練、
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	終業式、長期休暇活動、避難訓練
8月	始業式、長期休暇活動、避難訓練
9月	八剣山、避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	学童発表会、餅つき、終業式、避難訓練
1月	始業式、お正月会、長期休暇活動、父親参観週間、避難訓練
2月	豆まき、スキー、父親参観週間、避難訓練
3月	卒業式、終業式、避難訓練

## 4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器の点検（法定点検年2回）

## 5. 防災対策

## (1)防火管理者の状況

職名	児童発達支援管理責任者	氏名	北上丈生	選任届出年月日	2015年12月26日
----	-------------	----	------	---------	-------------

## (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・10・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・5・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・11・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・6・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2024・12・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・7・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・1・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・8・23	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・2・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2024・9・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2025・3・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ケースカンファレンス	毎週水曜	40回		児童発達支援管理責任者・児童指導員、保育士、指導員	5名	
クラス会議	毎週水曜	40回		児童発達支援管理責任者・児童指導員、保育士、指導員	5名	
個別支援作成会議	年2回(前期・後期)	2回		児童発達支援管理責任者・児童指導員、保育士、指導員	5名	
管理者・児発管会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	2名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

## 〔評価〕

・職員が大幅に入れ替わった新年度当初は、新一年生が加わったこともあり支援が困難な状況もあった。親子発達支援をきっかけに、理事長やマネージャーの先生からのアドバイスで関わり方や構造化を見直し、クラスが随分とまとまった。

- ・制作をやる回数が少なかった。
- ・キャンプや八剣山、スキーなど、様々な活動が出来た。

## 〔展望〕

- ・引き続き、クラスの良い雰囲気を持続していきたい。
- ・個別での面談やグループカウンセリングを引き続き積極的に行っていき、家庭での困り感を素早くキャッチして、必要なサービスや支援に繋げていく。
- ・クッキングや制作を定期的に行う。
- ・フリースクールの活動、保護者が協力し合える関係を応援していく。

## ブラックベリー(野の花第3単位)(放課後等デイサービス)

## 1. 施設利用状況

### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
計	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49

### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	235	255	253	280	189	209	276	234	211	206	201	173	2722

## 2. 職員配置状況

(人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
指導員	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5
合計		10	10	10	10	10	10	10	10	10	11	11	11

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・ 個別支援計画は年2回（3月、9月）に作成した。
- ・ アセスメントシートを元に面接をして、保護者に子どもへの願いや困り感、事業所への要望を聞き取りした。
- ・ 個別支援計画を保護者に説明をした後、同意を得た。
- ・ 半年間モニタリングを行い、評価を行った。

### (2) 主な活動

- ・ ミーティング、スキル練習、学習活動、季節行事（クリスマス会、豆まきなど）
- ・ 集団活動（学童運動会、学習発表会、性教育、社会スキルや生活スキルの学び）、個別活動

### (3) 余暇活動支援（行事・施設見学等）

4月	入学式、カーペンター、避難訓練
5月	避難訓練
6月	定期テスト集中日、避難訓練
7月	避難訓練、あいサークル見学
8月	避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、ハロウィン、中小屋カーペンター、定期テスト勉強集中日、避難訓練
11月	避難訓練
12月	学童発表会、クリスマス会、避難訓練

1 月	避難訓練
2 月	豆まき、定期テスト集中日、避難訓練
3 月	卒業式、避難訓練

#### 4. 施設設備管理業務

#### 5. 防災対策

##### (1)防火管理者の状況

職名	児童発達支援管理責任者	氏名	北上丈生	選任届出年月日	H27. 12. 26
----	-------------	----	------	---------	-------------

##### (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・19	避難・消火・通報・救出・その他	2024・10・18	避難・消火・通報・救出・その他
2024・5・17	避難・消火・通報・救出・その他	2024・11・15	避難・消火・通報・救出・その他
2024・6・21	避難・消火・通報・救出・その他	2024・12・20	避難・消火・通報・救出・その他
2024・7・19	避難・消火・通報・救出・その他	2025・1・17	避難・消火・通報・救出・その他
2024・8・23	避難・消火・通報・救出・その他	2025・2・21	避難・消火・通報・救出・その他
2024・9・20	避難・消火・通報・救出・その他	2025・3・21	避難・消火・通報・救出・その他

#### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第 1 木曜	12 回		管理者・児童発達支援管理責任者・児童指導員・指導員	5 名	
クラス会議	毎週月曜	44 回		児童発達支援管理責任者・児童指導員・指導員	5 名	
ケースカンファレンス会議	毎週月曜	44 回		児童発達支援管理責任者・児童指導員・指導員	5 名	
個別支援計画作成会議	前期・後期	2 回		児童発達支援管理責任者・指導員	5 名	
児発管会議	月 1 回	12 回		児童発達支援管理責任者	1 名	

#### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

#### 8. 評価と展望

##### 〔評価〕

- ・クラスで、一人ひとりの子どもに合わせた学習資料やプリント作成し、基礎学力が身につくような学習支援をする事ができた。
- ・学年ミーティングの話し合いを通して、悩み事などを共有し、子ども達同士の絆が深まるように、一年間取り組むことが出来た。
- ・CSP の予防教育をして、適応行動を効果的に褒めて、中高生に必要な社会スキルや生活スキルを身に着けるように取り組んだ。また、パワーポイントを用いて、目で見て分かるように公共のルールや人間関係のマナーをわかりやすく学べるように配慮した。
- ・高校生は、ミーティングで仲間同士の話し合いをし、個別で気持ちを聞くことを大切にし、その中で自立に向け

た意識を育てるように支援した。

〔展望〕

- ・学年ミーティングや集団活動を通して、ここに来れば仲間にあえる安全基地となるように、連帯感やなんでも話し合える関係性を育んでいく。
- ・生活スキル、社会スキルを身に付けて、自立ができるように、CSP のスキル練習や、目で見て分かるような説明をミーティングで行なっていく。

## グリーン(放課後等デイサービス)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
東区	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
計	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
人数	217	280	301	308	258	268	318	295	283	271	274	284	3411

### 2. 職員配置状況

(人)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
児童指導員	非常勤	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
機能訓練担当職員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
その他従業者	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

・半期に 1 度モニタリング・原案作成・個別支援会議・個別支援計画の作成・保護者の説明と同意→ファイリングして保管を行った。

#### (2) 主な日中活動

・朝の会、学習、外活動（散歩、サッカー、野球）、畑、除雪、音楽、工作、実験、描画、グルカン

#### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4 月	入園式・I 期始業式・避難訓練
5 月	避難訓練・父親参観
6 月	避難訓練、遠足（動物園）
7 月	避難訓練

8月	Ⅰ期終業式・Ⅱ期始業式・避難訓練
9月	運動会・避難訓練
10月	避難訓練、ハロウィン
11月	避難訓練
12月	生活発表会・クリスマス会・Ⅱ期終業式・避難訓練
1月	Ⅲ始業式・お正月会・避難訓練
2月	豆まき・避難訓練
3月	ひなまつり会・卒園感謝会・卒園式・修了式・避難訓練

#### 4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器の点検（法定点検2回）

#### 5. 防災対策

##### (1)防火管理者の状況

職名	児童指導員	氏名	北上 丈生	選任届出年月日	H27.12.26
----	-------	----	-------	---------	-----------

##### (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2022・4・22	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2022・10・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2022・5・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2022・11・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2022・6・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2022・12・16	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2022・7・22	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・1・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2022・8・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・2・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
2022・9・16	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	2023・3・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

#### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ケースカンファレンス	毎週木曜	47回		児発管・児童指導員	3名	
クラス会議	毎週木曜	48回		児発管・児童指導員	3名	
個別支援計画会議	年2回（前期・後期）	2回		児発管・児童指導員	3名	
グループスーパービジョン	毎週木曜日	40回		児発管・児童指導員	3名	
職員会議	月1回木曜日	12回		職員全員	3名	
ケースカンファレンス	毎週木曜	47回		児発管・児童指導員	3名	

#### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	ありませんでした	ありませんでした

#### 8. 評価と展望

##### 〔評価〕

- ・子どものグループカウンセリングでは、自分の気持ちを話す練習をし、気持ちを話すことに慣れ過ごせるようになってきた。
- ・職員に助けを求める事で、友人関係や悩みごとの解決につながる練習ができた。

##### 〔展望〕

- ・今年度の日課をもとに、音楽活動や美術、清掃活動などを入れる。
- ・グループカウンセリングをもとに、自分の気持ちを話す練習と話す機会を作る。
- ・畑活動、制作、クッキングの活動を、学習につなげた解説をして、総合的な取り組みをする。



## チェリーブロッサム(放課後等デイサービス)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	22	22	22	23	23	23	22	22	22	22	22	22	22.25
北区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
計	31	31	31	32	32	32	31	31	31	31	31	31	31.25

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	244	251	247	273	212	231	280	247	252	235	217	236	2925

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援 管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
児童指導員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

#### (2) 主な日中活動

- ・国、数、英を中心とした個々に合わせた学習
- ・散歩、スポーツ活動などの戸外活動
- ・美術、工作などの制作活動
- ・スイーツなどのクッキング
- ・歌や楽器などの音楽活動

#### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練

8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	学童運動会、避難訓練
10月	避難訓練
11月	避難訓練
12月	学童学習発表会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

#### 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

#### 5. 防災対策

##### (1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	北上 丈生	選任届出年月日	平成27年12月26日
----	------	----	-------	---------	-------------

##### (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R6・4・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R6・10・18	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R6・5・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R6・11・15	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R6・6・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R6・12・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R6・7・19	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R7・1・17	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R6・8・23	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R7・2・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他
R6・9・20	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他	R7・3・21	<del>避難・消火・通報</del> 救出・その他

#### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週水曜日	52回		児発管・児童指導員・指導員	3名	
ケースカンファレンス	毎週水曜日	52回		児発管・児童指導員	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員	3名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児発管	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員	3名	

#### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

#### 8. 評価と展望

##### 〔評価〕

- ・中高生の事業所として療育を行った。利用者は昨年度から引き続いてる利用者と新中1年生で新たに契約した子がいた。新しい環境に慣れるようにケースカンファレンスを行い、個別で対応するなど配慮を行った。またお話し会や個別で話しを聞く時間を設け職員のと関係構築を図り、気持ちを話しやすい環境作りに努めた。学習の支援では一人一人に適したプリントを用意して毎日繰り返す事で達成感や自信に繋げられるように支援を行った。
- ・人間関係や人との距離間など職員が間に入り話しを聞き、良好な人間関係が築けるように練習を行っていった。
- ・学びの時間では、性教育やネットリテラシーやSDGsなど中高生に適した学びを行った。
- ・CSPで社会スキルを身に付けられるように、フロントやミーティングや活動前にスキル練習を毎日行った。
- ・事業所内相談支援や必要に応じ家庭訪問を行い、家庭での様子やニーズを聞いて一人一人に合わせた支援を行っ

た。

〔展望〕

- ・家庭内や学校生活の中で不安や悩みを抱えた子どもの気持ちに寄り添い一人一人に丁寧にに関わり、子どもや保護者が安心して生活出来るように支援していく。
- ・事業所内相談支援やグループカウンセリングなどで保護者からの悩みやニーズを聞き、それぞれに合った支援を行う。
- ・CSP をベースに、子どもが社会スキルを習得出来るようフロントやミーティングや活動前に繰り返し練習を行う。
- ・利用者と職員が信頼関係を構築出来るように一人一人に丁寧にに関わり、気持ちに寄り添っていく。
- ・一人一人の発達に合った学習課題を用いて取り組み、職員が励まし効果的に褒める事で自信や達成感に繋げていく。

## みかほ(放課後等デイサービス)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
北区	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.75
中央区	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1.66
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
石狩	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	11	11	11	12	13	13	13	13	13	13	13	13	12.41

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	102	93	75	108	94	86	98	83	84	80	75	85	1063

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
機能訓練担当士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
理学療法士	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
看護師	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
嘱託医	非常勤												
合計		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)、個別支援計画を作成した
- ・保護者との面接で、子どもや療育への希望の聞き取りを行った
- ・8月・2月にモニタリングを行った

- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った

## (2) 主な日中活動

- ・夕の会、学習、公園遊び、散歩、
- ・設定活動（王様、的当て、音楽遊び、ボウリングなど）
- ・製作、室内活動（ぬりえ、粘土、トランポリン、ブランコ等）

## (3) 余暇活動支援（行事・旅行・クラブ活動等）

4 月	I 期始業式、避難訓練
5 月	避難訓練
6 月	避難訓練
7 月	学校長期休暇活動、避難訓練
8 月	学校長期休暇活動、I 期終了式、II 期始業式、避難訓練
9 月	避難訓練
10 月	避難訓練
11 月	避難訓練、学童発表会
12 月	学校長期休暇活動、II 期終了式、避難訓練
1 月	学校長期休暇活動、III 期始業式、避難訓練、お正月会
2 月	避難訓練、豆まき
3 月	III 期終了式、避難訓練、

## 4. 施設設備管理業務

- ・消防設備の総合点検を年 2 回行い、7 月の結果報告書を消防署に届け出をした。
- ・毎月、自主点検を行った。

## 5. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名	児童発達支援管理責任者	氏名	小川 崇史	選任届出年月日	2020 年 4 月 1 日
----	-------------	----	-------	---------	----------------

### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
R6・4・19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・10・25	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・5・24	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・11・22	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・6・10	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R6・12・20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・7・19	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・1・17	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・8・23	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・2・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>
R6・9・20	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>	R7・3・21	<del>避難・消火・通報・救出・その他</del>

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ケースカンファレンス	月 1 回	12 回		管理者・児童発達支援管理責任者・児童指導員・機能訓練担当士・看護師	6 名	
クラス会議	毎週木曜	50 回		管理者・児童発達支援管理責任者・児童指導員・機能訓練担当士・看護師	6 名	
個別支援計画会議	年 2 回（前期、後期）	2 回		管理者兼児童発達支援管理責任者・児童指導員・機能訓練担当士・看護師	6 名	

				護師		
児童発達支援管理者会議	月 1 回	12 回		児童発達支援管理責任者	1 名	
職員会議	月 1 回第 1 木曜日	12 回		管理者・児童発達支援管理責任者・児童指導員・機能訓練担当士・看護師	6 名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- 子ども達の出来たことを繰り返し効果的に褒めることで、子供たち一人一人が自信をもって取り組むことが出来たり、発語や表情などのサインを用いて自己主張する機会が増えた。
- 連絡帳を用いることで、前日の子どもの様子などを親と共有することが出来た。また、送迎の際に親と話をすることで、家庭内の様子や困り感などを共有した。
- 子どもの様子や体の状態、リハ職の観点でやった方がいいことなどをクラス会議やケースカンファレンスを通して職員間で共有した。

### 〔展望〕

- CSP を基礎として、むぎのこでの療育の基本、弧の形、先頭中間最後、人数確認などを用いた支援をしていきたい。
- 安全のルールを意識して安心、安全を心掛けて子どもたちの生活を保障していきたい。
- お母さん方のお話を聞いていき、子どもだけでなく家族支援も大切にしていきたい。
- 学校後の下校時間が遅くなる子が多くなっているため、短い時間でも子供たちが来て楽しかったと思えるように活動を行っていく。また、引き続き学童ならではの活動を模索し、取り組んでいきたい。

## IV 成人部門

### ジャンプレッツ(生活介護)

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
東区	30	30	30	30	31	31	31	31	32	32	32	32	31
北区	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
西区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
手稲区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
清田区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
厚別区	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.8
江別市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
豊平区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	49	49	50	50	51	51	51	51	52	52	52	52	50.8

##### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
計	865	904	902	964	761	852	932	850	894	839	801	908	10472
前年度	821	840	922	873	775	844	875	815	827	763	786	843	9984

## 2. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・2024年度の個別支援計画は2023年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2024年度個別支援計画を説明し、同意を得る。(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

### (2) 主な日中活動

- ・作業や活動(畑作業・洗車作業・室内清掃・施設外清掃・除雪作業・ビーズ作業・ペンキ)を5つのグループに分かれて行なった。
- ・スポーツ活動(ソフトボール・歩くスキー・卓球・スケート・ボッチャ、風船バレー等)
- ・レクリエーション(フットケア・ハンドケア等)
- ・サークル活動(英会話、フラダンス)
- ・行事(お花見・日帰りキャンプ・スポーツ大会・クリスマス会など)

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	英会話・フラダンス・入所式・歓迎会
5月	英会話・フラダンス・お花見
6月	英会話・フラダンス
7月	英会話・フラダンス・海水浴
8月	英会話・フラダンス・日帰りキャンプ(中小屋小学校)
9月	英会話・フラダンス・バザー
10月	英会話・フラダンス・スポーツ大会
11月	英会話・フラダンス
12月	英会話・フラダンス・クリスマス会
1月	英会話・フラダンス・成人式
2月	英会話・フラダンス・豆まき
3月	英会話・フラダンス・ひな祭り

## 3. 給食業務

給食提供形態	1日1食 毎日提供 食事時間 11:30~13:00 食事提供に当たって、利用者の心身の状況や嗜好に合わせて食事の提供を行うとともに、年齢、障害の特性に応じた適切な栄養量及び内容の食事提供を行うため上記の栄養士を配置し、必要な栄養管理を実施。
給食費	650円

## 4. 医療体制

- ・嘱託医田村ドクター、平尾ドクターによる毎年1~2回の生活習慣予防検診の実施
- ・年2回の健康診断の実施(6月・10月)
- ・看護師・スタッフの連携による健康管理・指導
- ・定時薬・臨時薬の準備と保管・服用管理
- ・栄養士による食事管理

## 5. 施設設備管理業務

- ・エレベーター(リモート点検毎月・技術員点検4回・法定検査年1回)
- ・防災設備(法定点検年2回)

## 6. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名	施設長	氏名	菊池 愛	選任届出年月日	令和 6年4月1日
----	-----	----	------	---------	-----------

### (2) 消防計画の状況

当初届出年月日	2002年3月31日	最終変更届出年月日	2022年12月21日
---------	------------	-----------	-------------

### (3) 消防設備等の点検状況

区分	点検の箇所等
----	--------

	総合		外観・機能等	
点検年月日	2024 年 7 月 18 日	2025 年 1 月 16 日	年 月 日	年 月 日
消防署への報告	有 ・ 無	整備点検記録の有無		(有) ・ 無

(4)所轄消防署の立入検査状況

検査の有無	有 ・ (無)
立入検査年月日	年 月 日
改善指示事項の有無	有 ・ (無)
改善指示事項の内容	
上記の改善内容	

(5)避難場所の状況

第1次避難場所		第2次避難場所	
予定地	みずどり公園	予定地	伏古北小学校
施設からの距離	10M	施設からの距離	200M
予定地までの所要時間	約1分	予定地までの所要時間	10分

(6)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
6.4.19	(避難・消火・通報・救出・その他)	6.10.18	(避難・消火・通報・救出・その他)
6.5.17	(避難・消火・通報・救出・その他)	6.11.15	(避難・消火・通報・救出・その他)
6.6.21	(避難・消火・通報・救出・その他)	6.12.20	(避難・消火・通報・救出・その他)
6.7.19	(避難・消火・通報・救出・その他)	7.1.17	(避難・消火・通報・救出・その他)
6.8.23	(避難・消火・通報・救出・その他)	7.2.21	(避難・消火・通報・救出・その他)
6.9.20	(避難・消火・通報・救出・その他)	7.3.21	(避難・消火・通報・救出・その他)

(7) その他の防災対策

- ・ 自動通報装置の設置
- ・ セコムとの連携・利用者の防災センター体験による防災意識高揚
- ・ AEDの設置
- ・ 警備日誌の励行
- ・ 3日分の食料、水の備蓄、災害時拠点としての防災・災害対策用品の備蓄
- ・ 町内会防災訓練参加
- ・ 災害時指定避難場所への避難（伏古北小へ（年1回））

7. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
生活支援員	非常勤	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
看護師	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
栄養士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
合計		44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44

※サービス特性によって「児童発達管理責任者」「サービス提供責任者」と書き換える。

8. 実習生・介護等体験の受入

※実際に事業所で受け入れた記録を入力

受入学校名	実習期間	人数
北海道星置養護学校ほしみ高等学園		1人

実習生	せいとく介護こども福祉専門学校	令和7年2月12日～2月26日	1人

## 9. 職員研修 ※実際に事業所職員が参加した研修等(研修報告のあるもの)を記入してください

### (1) 法人・事業所内研修

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
4/1		法人研修	全職員

### (2) 施設外研修・行政説明会への参加

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
6/17.18	北海道知的障がい福祉協会	全道施設長研修セミナー	1人
7/29.30	日本ファミリーホーム協議会、北海道ファミリーホーム協議会	ファミリーホーム全国研究大会	2人
7/31	北海道公安委員会	安全運転管理者講習	1人
10/3.4	日本知的障がい福祉協会	全国知的障害関係職員研究大会	1人
11/1	北海道知的障がい福祉協会	全道知的障がい関係職員研究大会	1人
11/27-29	日本知的障害福祉協会	リスクマネージャー養成研修	1人
11/28.29	特定非営利活動法人きなはれ	サービス管理責任者実践研修	1人
12/6	北海道知的障がい福祉協会	障がいのある方の交際・結婚・子育て支援を考えるセミナー	1人
12/6	北海道知的障がい福祉協会	高橋一裕氏の2024年度日本知的障害者福祉協会会長賞受賞記念祝賀会	1人
12/18	北海道知的障がい福祉協会	日中活動支援部会職員研修会	2人
1/29.30	公益社団法人日本知的障害福祉協会	日中活動支援部会全国大会関東地区埼玉大会	1人
2/4	札幌市知的障がい福祉協会	札幌市知的障がい福祉協会 重度高齢化に対する取り組みの研修	1人
2/17.18	札幌市知的障がい福祉協会	全道施設長研修会	1人

## 10. 諸会議の開催※会議録必須

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
支援員会議	毎月火曜日	24回		管理者、サビ管・生活支援員・看護師	17名	
各種委員会	毎月第4水曜日	12回		委員会担当職員	17名	
職員会議	毎月第4水曜日	12回		管理者、サビ管・生活支援員		
各部会議	毎月第2水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員		
マネージャー会議	毎月第2.4水曜日	29回		マネージャー	4名	
リーダー会議	月1回	12回		マネージャー・リーダー	3名	

## 11. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	



## 12. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・利用者支援では、全職員がコモンセンスペアレンティングを中心に、場面で各教育法を実践ができるよう支援を心掛けた。また、CSP が共通言語になるよう、どの職員でも同じように専門的な関わりができるように利用者さんとの関係構築を率先し行った。
- ・強度行動障害、愛着障害の対応が難しいなどの対応が難しい利用者には、片倉厚子先生や米澤先生のコンサルテーションに参加し、工夫支援方法・工夫の仕方を学んだ。生活のスキルとして箸の持ち方、食べ方などが向上できるように支援した。
- ・各 5 グループに合わせた、畑作業や清掃作業、生産活動、余暇活動 を行った。  
内職作業は新しい食品の封入作業を取り入れて行った。  
また、天候の良い日には戸外活動を組むことでリフレッシュすることができるよう配慮しました。
- ・内職の箱折りは全利用者が行い、工賃をもらうことができるように支援した。スープカレーやイモ餅、ハンバーグなどの封入作業を小グループで行っている。また、ポストिंग作業も全利用者が行うことができるように配慮した。
- ・職員のグループ SV や個別 SV を行うことで、職員の良かった、難しかったことを理解し、改善点のアドバイスを示し、利用者さんへの前向きな支援を行うことができた。週に一度、支援員会議を開き、支援について各グループからの報告、相談を全員で解決ができるように話をを行った。

### 〔展望〕

- ・各グループでの活動に対して、さらに構造化し、利用者がわかりやすく見通しをもって活動や作業に取り組むことができるような配慮が必要になる。構造化した環境を職員が整えて行っていく。
- ・内職作業をする場所の提供や、新しい作業を探して行っていく。
- ・家族支援として、来年度は家族会 C S P を開催し、家族の悩みを聞くなどのコミュニケーションを図っていく。また孤立しやすい保護者との電話での連絡を定期的に行っていく。
- ・コロナ過でできなかった行事を行い、見通しを持ち、楽しみをもって通所ができるように支援していく。
- ・マスクや手洗いを全員が出来るように徹底した支援を行っていく。コロナが 5 類になってからは状況に応じて対応を変えていく。

## ジャンプレッツ(就労移行支援事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
東区	10	11	11	11	10	12	10	10	10	10	10	10	10.4
豊平区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	11	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11.4
前年度	13	12	12	11	11	12	11	11	11	11	10	10	11.3

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
合計	147	168	179	192	144	173	187	164	154	129	138	142	1917
前年度	155	133	164	150	137	152	152	137	133	125	121	145	1704

### 2. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・2024 年度の個別支援計画は中間評価で利用者本人と面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者や保護者に作成した個別支援計画を説明し、同意を得る。(概ね 3 ヶ月ごとに同様に個別支援計画の見直しを行った。)

#### (2) 主な日中活動

- ・調理室での作業：食器の準備、調理業務(食材の切り作業、味付け、炒め作業等)、食事の配達業務、食器洗浄、調理室清掃作業等、ジャンプレッツ内清掃
- ・むぎのこ発達クリニックの清掃

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入所式
5月	お花見
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	クリスマス会
1月	成人式
2月	
3月	ひなまつり

### 3. 給食業務

給食提供形態	1日1食 毎日提供 食事時間 11:30~13:00 食事提供に当たって、利用者の心身の状況や嗜好に合わせて食事の提供を行うとともに、年齢、障害の特性に応じた適切な栄養量及び内容の食事提供を行うため栄養士を配置し、必要な栄養管理を実施。
給食費	650円

### 4. 健康管理業務

(1) 医療体制

- ・嘱託医田村ドクター、平尾ドクターによる毎月1~2回の生活習慣予防検診の実施

(2) 健康管理

- ・年2回の健康診断の実施(6月・10月)
- ・看護師・スタッフの連携による健康管理・指導
- ・定時薬・臨時薬の準備と保管・服用管理
- ・栄養士による食事管理

### 5. 施設設備管理業務

- ・エレベーター(リモート点検毎月・技術員点検4回・法定検査年1回)
- ・防災設備(法定点検年2回)

### 6. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	施設長	氏名	菊池 愛	選任届出年月日	令和 6年4月1日
----	-----	----	------	---------	-----------

(2) 消防計画の状況

当初届出年月日	2002年3月31日	最終変更届出年月日	2022年12月21日
---------	------------	-----------	-------------

(3) 消防設備等の点検状況

区分	点検の箇所等			
	(総合)		外観・機能等	
点検年月日	2024年7月18日	2025年1月16日	年 月 日	年 月 日
消防署への報告	(有) ・ 無		整備点検記録の有無	
	(有) ・ 無		(有) ・ 無	

(4) 所轄消防署の立入検査状況

検査の有無	有 ・ (無)
-------	---------

立入検査年月日	年 月 日
改善指示事項の有無	有 ・ 無
改善指示事項の内容	
上記の改善内容	

(5)避難場所の状況

第1次避難場所		第2次避難場所	
予定地	みずどり公園	予定地	伏古北小学校
施設からの距離	10M	施設からの距離	200M
予定地までの所要時間	約1分	予定地までの所要時間	10分

(6)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
6.4.19	避難・消火・通報・救出・その他	6.10.18	避難・消火・通報・救出・その他
6.5.17	避難・消火・通報・救出・その他	6.11.15	避難・消火・通報・救出・その他
6.6.21	避難・消火・通報・救出・その他	6.12.20	避難・消火・通報・救出・その他
6.7.19	避難・消火・通報・救出・その他	7.1.17	避難・消火・通報・救出・その他
6.8.23	避難・消火・通報・救出・その他	7.2.21	避難・消火・通報・救出・その他
6.9.20	避難・消火・通報・救出・その他	7.3.21	避難・消火・通報・救出・その他

7. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
職業指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
就労支援員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	非常勤	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
調理員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計		8	9	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10

8. 実習生・介護等体験の受入 ※実際に事業所で受け入れた記録を入力

受入学校名		実習期間	人数
実習生	北海道札幌高等養護学校		1人

9. 職員研修

(1) 法人・事業所内研修

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
4/1	社会福祉法人麦の子会	法人研修	5名

10. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考
		定例	臨時			
支援員会議	毎週 火曜	24回		管理者・サビ管・支援員	3名	
ケース会議	毎月第4水曜	12回		管理者・サビ管・支援員	3名	
各種委員会	各委員会規定日	12回		委員会担当職員	3名	
職員会議	毎月第4水曜日	12回		管理者・サビ管・支援員	3名	
各部会議	毎月第2水曜日	11回		管理者・サビ管・支援員	3名	

## 11. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 12. 評価と展望

- ・2024年度は、一般就労に結び付いた利用者は3名いた。ハローワークなどに行くなど情報を提供して今後も一般就労に繋ぐことができるように支援を継続していく。利用率についても定員を割れることなく一年間進めることができた。支援についてはCSPをベースに教育法を用いて、利用者の達成感や充実感を高め、自己肯定感をもって過ごすことができていました。また、SSTの練習であいさつなどの基礎スキルの獲得や、適切なコミュニケーションをとることができるように支援を行った。また、一人ひとり利用者さんに合わせた作業内容を考え、下処理作業、切り作業、皿洗いなど分担して行うことができた。
- ・展望として、就労につながるような支援をしていきたい。挨拶や目を見ての会話などの生活面のスキルの獲得や、コミュニケーション能力を高めることができるよう支援していきたい。
- ・また、給食づくりや配達以外にも、内職や箱折り、ポスティングなど生活介護の利用者と一緒に作業を行い、様々なスキルを身に付け、自信につなげていきたいと感じている。
- ・働く環境作りもSVやグループSVを通じて風通しの良い職場になるように常に工夫をし、安心して通所ができるように今後も支援を続けていく。

## ハーベストガーデン(生活介護事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	34	34	34	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33.3
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
計	36	36	36	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35.3

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	748	731	756	764	619	704	792	725	716	662	657	749	9143

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
生活支援員	非常勤	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
看護師	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
栄養士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・2024年度の個別支援計画は2023年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと

2024 年度個別支援計画を説明し、同意を得る。  
(9 月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

- ・スポーツ（スノーシュー・ソフトボール・スケート他）/勉強/ウォーキング/ショッピング  
町内清掃/ガーデニング/畑作業/フラダンス/洗車作業/ドライブ/  
ボイストレーニング/フラワーアレンジメント/ポスティング/箱折作業

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4 月	入所式・歓迎会・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
5 月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール・お花見
6 月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール・動物園
7 月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール・海水浴
8 月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール・海水浴
9 月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール・バザー
10 月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール・スポーツ大会
11 月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール・日帰り旅行
12 月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・クリスマス会
1 月	歩くスキー・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・成人式
2 月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・豆まき
3 月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・ひな祭り

4. 施設設備管理業務

- ・防災設備（法廷点検 2 回）

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	マネージャー	氏名	原田 秀二	選任届出年月日	令和 6 年 4 月 1 日
----	--------	----	-------	---------	----------------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・19	避難・消火・通報・救出・その他	2024・10・13	避難・消火・通報・救出・その他
2024・5・24	避難・消火・通報・救出・その他	2024・11・15	避難・消火・通報・救出・その他
2024・6・21	避難・消火・通報・救出・その他	2024・12・20	避難・消火・通報・救出・その他
2024・7・19	避難・消火・通報・救出・その他	2025・1・24	避難・消火・通報・救出・その他
2024・8・23	避難・消火・通報・救出・その他	2025・2・21	避難・消火・通報・救出・その他
2024・9・20	避難・消火・通報・救出・その他	2025・3・21	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
支援員会議	毎月第 1.3 水曜日	24 回		管理者・サビ管・生活支援員・看護師	11 名	支援員会議
各種委員会	毎月第 4 水曜日	12 回		委員会担当職員	11 名	各種委員会
職員会議	毎月第 4 水曜日	12 回		管理者・サビ管・生活支援員	11 名	職員会議
各部会議	毎月第 2 水曜日	12 回		管理者・サビ管・生活支援員	11 名	各部会議
マネージャー会議	随時	24 回		マネージャー	3 名	マネージャー会議

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・スワンビルで3年目を迎えた。新たな活動にも取り組み、自己選択・決定を活動の中に設定している。従たる事業所では仕事（製造室。フロアなど）を中心にした作業を行っている。
- ・引き続き、場面後の人数確認を徹底している。活動への移動時、ハーベスト出発時、目的地到着時、目的地出発時。
- ・朝のミーティングやケース会議などで利用者さんに付いて話し合う時間を意識的に作っている。その中で、出てきた見立てにそって職員間で統一した関わりを行うことで行動の問題も減ってきている。
- ・工賃を得られる作業（チラシ配布、ふりっぱ一配布）を設定し、その人の能力でできるところから参加してもらっている。歩行がゆっくりであっても、集合ポストが多い場所に設定するなど配慮を行い、多くの利用者に参加してもらっている。
- ・CSPを活用し、特に活動前の予防や効果的なほめ方を実践している。また、ポイントも取り入れることで適応行動が強化されている。

### 〔展望〕

- ・引き続き場面ごとの人数確認を行うことで安全に活動していく。
- ・一人一人の障害特性の理解を深め、その人らしい生活を提供できるように日々努力する。
- ・「自己選択」「自己決定」を意識した活動の設定を行い、様々な経験を増やしていく。
- ・職員が学ぶ時間を切り出し、学ぶことで支援力の向上を目指していく。学び続けていく。
- ・チームワークを大切に、情報の共有（報告・連絡・相談・確認）を丁寧に行っていく。

## トリニティ(生活介護事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	26	26	26	26	26	26	26	26	26	27	27	27	26.3
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	29	29	29	29	29	29	29	29	29	30	30	30	29.3

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	564	597	599	632	493	562	619	595	550	548	523	590	6872

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者 サービス管理 責任者	常勤 兼務	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常勤	7	7	6	6	6	6	6	7	7	7	8	6
生活支援員	非常勤	7	7	8	8	8	8	9	8	7	6	6	8
看護師	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計		20	20	20	20	20	20	21	21	20	19	20	20

### 3. 支援業務

- (1) 個別支援計画の策定
 
  - ・2024年度の個別支援計画は2023年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2024年度個別支援計画を説明し、同意を得る。（9月に同様に後期個別支援計画を行った。）

- (2) 主な日中活動
 
  - ・スポーツ（バスケットボール・マラソン他）/勉強/ウォーキング/ショッピング/  
町内清掃/畑作業/洗車作業/清掃作業/室内トレーニング/ボッチャ/体操

- (3) 余暇活動支援（行事・旅行・クラブ活動等）

4月	入所式・歓迎会
5月	花見
6月	エコりん村・エスコン見学
7月	エスコン見学・三角山登山・コインランドリー清掃始まる
8月	中小屋草刈り
9月	バザー・
10月	スポーツ大会・運動会・ハロウィンパーティー
11月	小樽水族館日帰り旅行
12月	クリスマス会
1月	成人式
2月	豆まき・乱拍子
3月	ひな祭り

### 4. 施設設備管理業務

- ・防災設備（法廷点検2回）

### 5. 防災対策

- (1)防火管理者の状況

職名	管理者	氏名	古家 健司	選任届出年月日	令和1年8月1日
----	-----	----	-------	---------	----------

- (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他	2023・10・20	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他
2023・5・19	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他	2023・11・17	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他
2023・6・16	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他	2023・12・15	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他
2023・7・21	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他	2024・1・19	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他
2023・8・18	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他	2024・2・16	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他
2023・9・15	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他	2024・3・15	<del>避難</del> ・ <del>消火</del> ・ <del>通報</del> ・ <del>救出</del> ・その他

### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
支援員会議	毎月第2・4水曜日	24回		管理者、サビ管・生活支援員	10名	
各種委員会	毎月第4水曜日	12回		委員会担当職員	10名	
職員会議	毎月第4水曜日	12回		管理者、サビ管、生活支援員	10名	
マネージャー会議	毎月第2・4水曜日	24回		マネージャー	2名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・今年度は報酬改定もあり、利用時間での報酬になったが、昨年度とそれほど時間帯は変わらずに皆さん利用していた。もともと長く利用されている方が多い。
- ・利用者さんの意思決定支援をどの様に行うか話し合われてきた。会話のできる利用者さんは自分の意思がわかりやすいが、重度の方々の意思をどの様に理解していけばよいか難しさがある。しかし小さな表情の変化や動きなど、長い関係性から見えてくることがある事を感じている。今後も深く付き合って考えていく。
- ・支援の基本として CSP の肯定的な関わり方をベースに利用者さんと接してきた。利用者さん自身もポイントを貯めることを目標に社会スキルを学び成長につながっている。
- ・SV を行い、困っている事や悩みを聞いて改善することが出来た。
- ・強度行動障害の対応が難しいなどの対応が難しい利用者には、片倉厚子先生コンサルテーションに参加し、工夫支援方法・工夫の仕方を学んだ。生活のスキルとして箸の持ち方、食べ方などが向上できるように支援した。継続して体操を行う事が出来ている。
- ・全体として楽しい雰囲気を作り上げる事が出来た。

### 〔展望〕

- ・より活動を増やして、一人一人が楽しめるようにする。一人一人にあった個別の活動にも挑戦する。
- ・毎日の仕事を考えて、誰でもできるような仕組みを考える。
- ・一人一人のアセスメントをとって、職員間で打合せをおこない、利用者さんに必要なスキルを話し合い共有して取り組んでいく。
- ・安心・安全の為に、環境を常に改善して良いものとしていく。

## V 家庭・くらし部門

### ショートステイむぎのこ(短期入所事業)

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	139	141	144	145	147	147	151	153	155	158	163	166	150.4
北区	51	51	51	51	54	55	55	55	55	55	55	56	53.6
西区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
南区	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2
豊平区	2	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4	4	3.16
中央区	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	6	4.75
手稲区	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
措置	17	16	15	14	15	16	18	19	20	21	20	21	17.6
石狩市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	214	216	216	218	220	223	228	229	232	233	236	237	225

##### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	109	163	193	208	194	196	212	206	204	202	193	211	2291



## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
生活支援員	非常勤	23	23	23	25	25	25	25	25	25	24	24	24
看護師	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
看護師	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
事務員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		38	38	38	40	40	40	40	40	40	39	39	39

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成
- ・安全マニュアル作成
- ・食形態の変更など、ST・栄養士から助言を受けた。
- ・必要に応じて各部署と支援会議を行い、支援の方向性を検討した。
- ・医療ケア対応マニュアル作成

### (2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠
- ・休日はむぎのこの園庭・公園での外活動や散歩、制作等

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

## 4. 施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	① 窓柵の修理
施設設備の保守点検委託業務	暖房設備・スプリンクラー保守点検
施設設備の管理業務	① 外回り清掃(随時) ② 除雪(随時) ③ 排雪(市川造園により12～3月に12回)

## 5. 防災対策

### (1) 防火管理者の状況

職名		氏名	竹内 透	選任届出年月日	2017年11月1日
----	--	----	------	---------	------------

### (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・19	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2024・10・18	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・5・17	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2024・11・15	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・6・21	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2024・12・20	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・7・19	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025・1・14	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・8・23	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025・2・21	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・9・20	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025・3・21	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜日	12回		管理者・生活指導員	1名	
ショートむぎ職員会議	月1回	12回		管理者・生活指導員 看護師	5名	
感染防止委員会	月1回	12回		管理者・生活支援員	1人	
建物管理・環境整備委員会	月1回	12回		管理者・生活支援員	1人	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・重度障がい児対応型で、看護師による医療ケアを管理した。
- ・感染症予防のため、手洗い・手指の消毒・マスク着用・健康管理及び検温等の健康観察・室内換気・室内消毒を徹底して行い、感染防止に努めた。また、一時保護中に発熱などの病児保育が必要な際も、個別対応や衛生に努めて感染拡大を防いだ。
- ・思春期の対応では、関係部門と支援会議を開いて情報を共有し、医師からの助言を得ることができて支援に活かした。
- ・投薬のルールや鍵のルール、安全のルール、アレルギー対応、人数確認のルールを見直し実践することで、事故を起こさないように努めた。
- ・毎日の打ち合わせでCSPの効果的な褒め方とアンガーマネジメントの練習と安全のルールの読み合わせを行い、利用者さんに肯定的に関わることや安全に過ごすことで、利用者さんの生活やリズムが安定していった。

### 〔展望〕

- ・感染予防対策を徹底し利用者さんと職員の安全を守る。
- ・看護師や栄養士、ST・OTの専門職員と連携を図り、引き続き重心のお子さんも受け入れていく。
- ・幼児から思春期まで、幅広い利用者さんに対応することが求められるが、職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、安心・安全で明るい支援を行う。

## ショートステイピース(短期入所事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	172	172	172	172	174	176	180	183	185	188	192	195	180
北区	23	23	23	23	27	28	29	29	29	29	30	31	27
西区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
南区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1
白石区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊平区	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4
中央区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4
手稲区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置	16	16	16	16	16	16	16	18	18	18	18	18	17
計	222	222	222	222	229	232	237	242	244	247	253	258	236

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	311	321	372	383	357	350	380	337	318	284	343	322	4078

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
生活支援員	非常勤	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
管理栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	常 勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計		36	36	36	33	36	36	36	36	36	36	36	36

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成
- ・安全マニュアル作成
- ・必要に応じて各部署と支援会議を行い、支援の方向性を検討した。

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠
- ・休日は園庭・公園での外活動・クッキング・制作等

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

4. 施設設備管理業務

- ・特になし

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	生活介護トリニティ サービス管理責任者	氏名 古家 健司		選任届出年月日	2024年4月1日
----	------------------------	-------------	--	---------	-----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024.4.19	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2024.10.18	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024.5.17	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2024.11.15	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024.6.21	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2024.12.20	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024.7.19	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025.1.14	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024.8.238	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025.2.21	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024.9.20	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025.3.21	避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・生活支援員	5名	
ショートステイ全体会議	毎週火曜日			管理者・生活支援員	4名	
ピース会議	毎週金曜日	12回		管理者・生活支援員	5名	
権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化委員会	月1回	12回		管理者	1名	
苦情処理委員会	年3回			生活支援員	1名	
防災委員会	月1回	12回		管理者	1名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。
- ・児童相談所からの一時保護委託や要保護家庭の緊急の依頼に対し、速やかに対応した。各機関や各部門と連携して随時支援会議を行い、安全確保と支援内容の向上に努めた。一時保護の子ども達は、ショートで落ち着きを取り戻し家庭復帰、里親家庭、ファミリーホーム、グループホーム、他施設へと繋ぐ事が出来た。
- ・CSPやアンガーマネジメントを学習して練習する事で、肯定的に関わり、必要な時にはすぐに助けを求めて、利用者さんも職員も落ち着いて、明るく安全に過ごす事が出来た。また、夜勤者との引継ぎ時にも必ずアンガーマネジメントの練習、安全のルールを読み合わせを行い、虐待防止に努めた。
- ・鍵のルール・薬のルール・アレルギー対応・人数確認のルールを強化し、水の事故防止にも努めた。

〔展望〕

- ・引き続き、感染予防対策を徹底して利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、1対1の対応をしないようにして、安心・安全で明るい支援を行って行く。同性介護を基本とする。
- ・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂くように、職員が連携して常に明るく肯定的な対応に心がける。衛生・身だしなみ・環境整備に留意する。
- ・引き続き、鍵のルール、薬のルール、アレルギーの対応、人数確認を徹底して、事故防止に努める。
- ・毎週GSV、ショート会議を行い、問題解決・支援の向上に努める。

## ショートステイホームハーベスト(短期入所事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	82	83	84	84	84	85	89	95	100	101	104	105	90.9
北区	20	20	20	20	25	26	28	28	28	28	28	28	22.6
西区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
南区				1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.8
白石区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
手稲区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
豊平区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
石狩市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
措置	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	6	5.3
計	121	122	123	124	129	131	137	143	148	150	153	154	135.8

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	162	164	158	168	155	161	171	161	164	149	141	164	1918

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
生活支援員	非常勤	11	11	10	10	10	10	9	9	9	9	9	13
看護師	非常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		15	15	14	14	14	14	13	13	13	13	13	17

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成
- ・安全マニュアル作成
- ・必要に応じて各部署と支援会議を行い、支援の方向性を検討した。

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠
- ・休日は散策等

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

4. 施設設備管理業務

- ・特になし

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	防火管理管理者	氏名 原田 秀二		選任届出年月日	令和6年4月1日
----	---------	-------------	--	---------	----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・19	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2024・10・18	【防火・防災】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・5・17	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2024・11・15	【防火・防災】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・6・21	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2024・12・20	【防火・防災】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・7・19	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025・1・17	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・8・23	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025・2・21	【防火・防災】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・9・20	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025・3・21	【防火・防災】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・生活支援員	3名	
ショートステイ全体会議	毎週火曜日			管理者・生活支援員	3名	
ショートハーベスト会議	毎週水曜日	12回		管理者・生活支援員	3名	
権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化委員会	月1回	12回		管理者	1名	
苦情処理委員会	年3回			生活支援員	1名	
感染防止委員会	月1回	12回		看護師	1名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。
- ・身体障がい児の子ども達を受け入れて支援した。安全に介助できた。
- ・CSPやアンガーマネジメントを学習して練習する事で、肯定的に関わり、必要な時にはすぐに助けを求めて、利用者さんも職員も落ち着いて、明るく安全に過ごす事が出来た。また、職員の引継ぎ時にも必ずアンガーマネジメントの練習と安全のルールを読み合わせを行い、虐待防止に努めた。
- ・鍵のルール・薬のルール・アレルギー対応のルールを強化し、事故防止に努めた。

### 〔展望〕

- ・引き続き、感染予防対策を徹底して利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、1対1の対応をしないようにして、安心・安全で明るい支援を行って行く。
- ・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂くように、職員が連携して常に明るく肯定的な対応に心がける。衛生・身だしなみ・環境整備に留意する。
- ・引き続き、鍵のルール、薬のルール、アレルギーのルールを徹底して、事故防止に努める。
- ・毎日の打合せと毎週GSVを行い、問題解決・支援の向上に努める。

## ショートステイホームマルコ(短期入所事業)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数 0

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	0	0	13	17	15	15	15	14	14	14	14	12	11.9
北区	0	0	0	3	2	2	3	2	2	2	2	3	1.8
西区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白石区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中央区	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0.6
手稲区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊平区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石狩市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1.3
計	0	0	13	22	19	20	21	19	19	19	18	17	15.6

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	0	0	33	93	68	83	91	82	86	83	75	83	777

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常 勤			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤			2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
生活支援員	非常勤			8	8	8	8	8	8	8	7	7	7
看護師	非常勤			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	非常勤			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計				14	14	14	14	13	13	13	13	13	17

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成
- ・安全マニュアル作成
- ・必要に応じて各部署と支援会議を行い、支援の方向性を検討した。

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠
- ・休日は散策等

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

4. 施設設備管理業務

- ・特になし

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	防火管理管理者	氏名 高橋良輔		選任届出年月日	令和6年4月1日
----	---------	------------	--	---------	----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
		2024・10・18	【防火・防災】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
		2024・11・15	【防火・防災】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
		2024・12・20	【防火・防災】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・7・31	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025・1・17	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・8・23	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025・2・21	【防火・防災】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>
2024・9・20	【防火】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>	2025・3・21	【防火・防災】避難・消火・通報・ <del>救出・その他</del>

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数	参加職種	参加	参考事項
-----	-------	------	------	----	------

		定例	臨時		人数	
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・生活支援員	3名	
ショートステイ全体会議	毎週火曜日			管理者・生活支援員	3名	
ショートマルコ会議	毎週水曜日	9回		管理者・生活支援員	3名	
権利擁護。虐待防止・身体拘束適正化委員会	月1回	12回		管理者	1名	
苦情処理委員会	年3回			生活支援員	1名	
感染防止委員会	月1回	12回		看護師	1名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

### 〔評価〕

- ・感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。
- ・CSP やアンガーマネジメントを学習して練習する事で、肯定的に関わり、必要な時にはすぐに助けを求めて、利用者さんも職員も落ち着いて、明るく安全に過ごす事が出来た。また、職員の引継ぎ時にも必ずアンガーマネジメントの練習と安全のルールを読み合わせを行い、虐待防止に努めた。
- ・鍵のルール・薬のルール・アレルギー対応のルールを強化し、事故防止に努めた。

### 〔展望〕

- ・引き続き、感染予防対策を徹底して利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、1対1の対応をしないようにして、安心・安全で明るい支援を行って行く。
- ・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂くように、職員が連携して常に明るく肯定的な対応に心がける。衛生・身だしなみ・環境整備に留意する。
- ・引き続き、鍵のルール、薬のルール、アレルギーのルールを徹底して、事故防止に努める。
- ・毎日の打合せと毎週GSVを行い、問題解決・支援の向上に努める。

## 居宅介護事業所むぎのこ

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

#### 居宅介護

(単位 人)

市区町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	99	98	98	93	97	94	94	97	96	93	96	91	95.5
北区	11	11	9	11	10	11	12	12	8	8	7	5	9.6
西区	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	0.9
中央区	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.9
計	112	110	109	106	109	107	108	111	105	103	105	98	106.9
前年度	100	99	99	104	110	104	113	112	100	108	108	102	104.9

#### 行動援護

市区町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	50	48	49	50	50	46	45	47	45	45	43	23	45.1
北区	10	10	10	10	10	10	10	9	7	7	6	4	8.6
豊平区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		0.9
計	62	60	61	62	62	58	57	58	53	54	51	28	55.5



前年度	54	53	55	55	57	54	56	57	55	61	56	39	54.3
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	------

#### 移動支援

市区町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	62	68	66	59	70	59	59	60	62	59	62	53	61.6
北区	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	0.9
西区				1	1	1	1	1		1	1	1	0.7
手稲区													
計	63	69	67	61	71	61	61	62	63	61	64	55	63.2
前年度	61	65	64	59	66	54	62	61	63	64	61	56	61.6

#### (2) 利用延べ人数

#### 居宅介護

(単位 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計	449	474	412	446	381	437	500	475	434	433	391	424	5256
前年度	486	501	487	467	426	455	513	475	403	373	381	409	5376

#### 行動援護

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計	71	67	65	71	57	63	64	62	60	69	59	72	780
前年度	64	71	73	77	66	69	79	61	56	58	69	69	812

#### 移動支援

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計	164	187	186	183	69	164	172	133	123	102	116	125	1724
前年度	215	220	214	165	107	164	189	158	171	110	163	134	2010

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常勤・兼務	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス提供責任者	常 勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
登録ヘルパー	常 勤	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
登録ヘルパー	非常勤	33	33	33	35	33	34	35	35	35	37	37	35
合計		38	38	38	40	37	38	39	39	39	41	41	39

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・アセスメントに基づきサービス等利用計画案の作成
- ・年1回作成した介護計画を保護者に説明して同意を得る。
- ・モニタリングの実施

#### (2) 主な日中活動

- ・アセスメント
- ・介護計画の作成
- ・モニタリングの実施
- ・居宅介護事業 (食事介助・入浴介助・排泄介助・家事援助・行動援護等)
- ・移動支援事業 (外出時における移動中介助・排泄・食事の介助・通学支援)

- ・養育支援員派遣事業

#### 4. 施設設備管理業務

- ・消火器の点検

#### 5. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月1回	12回		管理者・サービス提供責任者	3名	
苦情処理委員会	毎月1回	12回		管理者	1名	

#### 6. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

#### 7. 評価と展望

〔評価〕

- ・キャンセルが出た場合は、ほかの利用者さん宅に訪問できるようにした。
- ・通学支援の時間や年齢に応じた同性介助ができるように、朝に稼働できる人や男性ヘルパーを確保し、スケジュール調整を行い利用者さんのニーズに答えられるようにした。
- ・状況に応じて各部署が集まって支援会議を行う事で、利用者さんの情報を共有でき、ヘルパーの支援内容の方向性が決まり支援することが出来た。
- ・ヘルパー時、マスクの着用、手指消毒、食事介助の時のグローブの使用を徹底し、感染予防に努めた。
- ・ヘルパー訪問の移動時や福祉有償運送での移動の際、安全に気をつけて移動した。

〔展望〕

- ・通学支援、家事援助、通院介助、グループホームの余暇活動、休日の余暇活動、17：00以降の身体介護など全時間・全曜日に利用者さんのニーズがある、各曜日・各時間帯に稼働できるヘルパーを確保していく。
- ・引き続きCSPを用い効果的な褒め方を用い肯定的な関わりを行っていきけるように努める。

## ガブリエルホーム

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数(ガブリエルホーム)

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
措置	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一時保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
前年度	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

##### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2190

#### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者兼養育者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

合計		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3. 支援業務

- (1) 個別支援計画の策定
 
  - ・児童自立支援計画が児童相談所より届き確認した。
  - ・発達支援プランを作成した。
- (2) 主な日中活動
 
  - ・整容・朝食・出発準備・おやつ・夕食・入浴・公園遊び
- (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	カーペンターズ、お誕生会、避難訓練
5月	お誕生会、避難訓練、小学校運動会
6月	避難訓練
7月	避難訓練、日本ファミリーホーム研究大会（旭川大会）
8月	避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、お誕生会、避難訓練、カーペンターズ
11月	生活発表会、避難訓練、学習発表会
12月	もちつき、お誕生会、避難訓練、クリスマス会
1月	お正月会、避難訓練
2月	豆まき、避難訓練
3月	ひなまつり、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器の点検(法定点検年2回)
- ・室内清掃（毎日）
- ・室外清掃・草花の手入れ（都度）

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名		氏名	届出義務無し	選任届出年月日	
----	--	----	--------	---------	--

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・25	避難・消火・通報・救出・その他	2024・10・24	避難・消火・通報・救出・その他
2024・5・23	避難・消火・通報・救出・その他	2024・11・28	避難・消火・通報・救出・その他
2024・6・27	避難・消火・通報・救出・その他	2024・12・26	避難・消火・通報・救出・その他
2024・7・25	避難・消火・通報・救出・その他	2025・1・23	避難・消火・通報・救出・その他
2024・8・22	避難・消火・通報・救出・その他	2025・2・27	避難・消火・通報・救出・その他
2024・9・26	避難・消火・通報・救出・その他	2025・3・27	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ファミリーホーム会議	毎週火曜日			管理者・養育補助者	8名	
グループSV	毎週水曜日			管理者・養育補助者	3名	
子ども家庭暮らし会議	毎週水曜日			管理者他	9名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 8. 評価と展望

(ガブリエルホーム)

〔評価〕

- ・コロナやインフルエンザなどの発症がまだあるため、感染症予防のため注意している。ファミリーホームの全国大会が旭川市であり、全国から計 500 人規模の大会となり盛会に終了できた。子ども達も全員で参加出来全国のファミリーホームとの交流を大人も子どもも出来て喜んでた。小学校やデイサービスなどと連携し子どもの状態をお互いに共有し配慮していくことが出来た。
- ・CSP で予防や褒めることに重点を置いて養育した。子どもたちの意見や願いを丁寧に聞いて、気持ちを尊重し安心して生活できるようになってきている。
- ・外出の機会が増えてきて、夏場は、キャンプや郊外の遊べる施設に行ったり、子どもたちも楽しむことが出来た。冬場は、スキーや家の除雪をしながら終わった後の達成感を得る事が出来た。

〔展望〕

- ・コロナやインフルエンザなど感染症がまだあり予断を許さない状況であるので、状況に応じてマスク着用、手洗い消毒を徹底して行っていく。
- ・小学校、中学校、デイサービス等とも連携して子どもが安心して安全な生活を送れるように支援していく。
- ・4 ホームとティンカーベルの連携が増えて行き、子どもたちの希望も聞きながら協力し合って子どもたちを支援していく。

## ベアテルホーム

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
措置	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一時保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
前年度	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
人数	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	168	186	2190

### 2. 職員配置状況

(人)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
管理者兼養育者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・児童自立支援計画が児童相談所より届き確認した。
- ・発達支援プランを作成した。

#### (2) 主な日中活動

- ・整容・朝食・出発準備・おやつ・夕食・入浴・公園遊び

#### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4 月	カーペンターズ、避難訓練
-----	--------------

5月	避難訓練
6月	避難訓練、お誕生会
7月	避難訓練日本ファミリーホーム研究大会（旭川大会）
8月	避難訓練、お誕生会
9月	避難訓練
10月	小学校運動会、学童運動会、お誕生会、避難訓練、カーペンターズ
11月	生活発表会、避難訓練、学習発表会
12月	もちつき、お誕生会、避難訓練、クリスマス会
1月	お正月会、避難訓練
2月	豆まき、避難訓練、お誕生会
3月	ひなまつり、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器の点検（法定点検年2回）
- ・室内清掃（毎日）
- ・室外清掃・草花の手入れ（都度）

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名		氏名	届出義務無し	選任届出年月日	
----	--	----	--------	---------	--

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・25	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他	2024・10・24	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他
2024・5・23	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他	2024・11・28	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他
2024・6・27	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他	2024・12・26	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他
2024・7・25	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他	2025・1・23	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他
2024・8・22	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他	2025・2・27	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他
2024・9・26	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他	2025・3・27	<del>避難</del> ・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ファミリーホーム会議	毎週火曜日			管理者・養育補助者	8名	
グループSV	毎週金曜日			管理者・養育補助者	2名	
子ども家庭暮らし部門管理者会議	毎週水曜日			管理者他		

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

8. 評価と展望

- 〔評価〕
- ・小学校、高校とディサービスと連携し、子どもの状態をお互いに把握し、不登校の子がほとんどなので行事の時に参加し楽しむことが出来た。高校生も朝早い時間だったが登校することが出来た。投稿できない子がいたが、放課後デイの職員に起こしてもらい送っていくこともあった。最終的には休みがちになってしまい、下宿に入ってしまったが、その後は元気に登校している。
  - そして、不登校の子どもたちは放課後等デイサービスで話を聞いてもらうことで落ち着いてきている。

- ・また落ち着かない子どもには、ショートステイに協力してもらい、学童の職員中心に支援していただいて、4月から実母のそばである熊本の施設に移行することが出来た。
- ・「にんしん SOS」から来た子どもが8月で1歳になり、3月までに2回の母子交流が出来た。

〔展望〕

- ・全体的に子どもの生活リズムや食生活など子どもまかせになってしまったところがあったので、生活リズムを整え、食生活も健康的なものとなるように工夫していく。
- ・引き続き、下宿に入っている子もいるので、子どもたちそれぞれのニーズや気持ちを考え、放課後デイの職員と連携して子どもたちの希望や要望など把握していく、褒めることを中心に、現在の子どもたちにあった結果を工夫して考えていく。
- ・記録をためたり、支払いが遅れてしまっていたこともあるので記録や支払の記述を守っていく。
- ・2024年度と同様、グレープ、ミモザが、ガブリエルホームと4ホームで連携し子どもたちを支援していく

## ミモザ(ファミリーホーム)

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
措置	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4.4
一時保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4.4
前年度	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5

#### (2) 利用延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	120	124	120	124	124	120	124	150	155	155	145	150	1611

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者兼養育者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

### 3. 支援業務

#### (1) 個別支援計画の策定

- ・児童自立支援計画が児童相談所より届き確認をした。
- ・児童自立支援プランを前期後期で作成・評価を行った。

#### (2) 主な日中活動

- ・整容・朝食・出発準備・帰宅後家の前で遊ぶ・おやつ・夕食・入浴（休日；公園等で活動）

#### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	カーペンターズ、お誕生会、避難訓練
5月	お誕生会、避難訓練、小学校運動会
6月	避難訓練
7月	避難訓練、北海道ファミリーホーム研究大会（朝里川温泉）
8月	避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、お誕生会、避難訓練、カーペンターズ
11月	生活発表会、避難訓練、小学校学習発表会
12月	もちつき、お誕生会、避難訓練、クリスマス会
1月	お正月会、避難訓練

2月	豆まき、避難訓練
3月	ひなまつり、避難訓練

#### 4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器の点検（法定点検年2回）
- ・室内清掃（毎日）
- ・室外清掃・草花の手入れ（都度）

#### 5. 防災対策

##### (1)防火管理者の状況

職名		氏名	届出義務無し	選任届出年月日	
----	--	----	--------	---------	--

##### (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・28	避難・消火・通報・救出・その他	2023・10・22	避難・消火・通報・救出・その他
2023・5・26	避難・消火・通報・救出・その他	2023・11・26	避難・消火・通報・救出・その他
2023・6・24	避難・消火・通報・救出・その他	2023・12・25	避難・消火・通報・救出・その他
2023・7・25	避難・消火・通報・救出・その他	2024・1・27	避難・消火・通報・救出・その他
2023・8・29	避難・消火・通報・救出・その他	2024・2・24	避難・消火・通報・救出・その他
2023・9・30	避難・消火・通報・救出・その他	2024・3・24	避難・消火・通報・救出・その他

#### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ファミリーホーム会議	毎週火曜日	24		管理者・養育補助者	8名	
グループSV	毎週火曜日	40		管理者・養育補助者	2名	

#### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	特になし	

#### 8. 評価と展望

##### 〔評価〕

- ・昨年度5月～6月で妊娠sosからの生後2か月の赤ちゃんを一時保護委託。保護解除後も遊びに来たり、実母が体調不良の際に子育てのサポートをすることが出来、解除後も繋がり支援することが出来ている。
- ・毎日の手洗い、消毒、検温、ファミリーホーム内の1日2階の消毒、定期的な換気の徹底。また、コロナの感染対策補助金でエアドッグや換気機能付きエアコン、消毒など購入することが出来 感染が落ち着いてからも子どもたちがコロナに感染しないように引き続き感染対策を行った。
- ・必要に応じて子どもたちの実父母と協力。実の兄や妹をミモザに泊めて姉弟交流の機会を持ち、家族との繋がりを大切にした。
- ・こどもたち一人ひとりの発達特性を理解し、日々の暮らしの中で各担任とも様子を共有し、連携 し子どもたちのニーズに応えられるようにサポートした。

##### 〔展望〕

- ・こどもの気持ちを大切に、実の家族との関係性を途絶えないように児相と連携していく。家族丸ごとの支援が必要な時には、里親チームとも連携し支えていく。
- ・5人の子どもたちの信頼関係を深めることやゆっくりと気持ちを聞くことが出来るように一对一の時間も持てるように補助者と協力し、工夫していく。
- ・ファミリーホーム会議やGSVを通して、日々の自分たちの関り方を見つめて、こどもたちにとって何が最善かを考えて、大切にしていくこと、改善していくことなど臨機応変に対応する。
- ・書類面も内部監査、内部監査チェック日をバディで確認し合い、ファミリーホーム全体の書類を的確に行っていく。一人仕事をしない！必ず確認し合う。

# ホワイトハウス（グループホーム）

## 1. 施設利用状況

### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	53	52	56	56	57	57	57	57	57	57	57	57	56
北区	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5
西区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
手稲区	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
豊平区	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	3
清田区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
厚別区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
札幌市外	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	65	64	68	68	69	69	69	69	69	69	69	69	

### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	1817	1787	1843	2014	1815	1943	2039	1949	1993	1909	1821	1951	22881

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
世話人	常 勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世話人	非常勤	30	30	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30
生活支援員	常 勤	21	21	22	21	20	20	20	20	20	20	20	20
生活支援員	非常勤	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
合計		60	60	62	62	61	61	61	61	61	61	61	61

## 3. 支援業務

### (1) 個別支援計画の策定

- ・2024年度の個別支援計画は2023年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2024年度個別支援計画を説明し、同意を得る。  
(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

### (2) 主な日中活動

・

### (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	誕生会
5月	誕生会
6月	誕生会
7月	誕生会
8月	誕生会
9月	誕生会
10月	誕生会
11月	誕生会
12月	誕生会、クリスマス
1月	誕生会



2月	誕生会
3月	誕生会

#### 4. 施設設備管理業務

- ・防災設備（法定点検年2回）

#### 5. 防災対策

##### (1)防火管理者の状況

職名	防火管理責任者	氏名	内山武人	選任届出年月日	2015年9月
----	---------	----	------	---------	---------

##### (2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・19	避難・救出・その他	2024・10・18	避難・救出・その他
2024・5・17	避難・救出・その他	2024・11・15	避難・救出・その他
2024・6・21	避難・救出・その他	2024・12・20	避難・救出・その他
2024・7・19	避難・救出・その他	2025・1・17	避難・救出・その他
2024・8・23	避難・救出・その他	2025・2・21	避難・救出・その他
2024・9・20	避難・救出・その他	2025・3・21	避難・救出・その他

#### 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
グループホーム会議	毎週月曜	52回		管理者・サビ管 世話人・生活支援員	18名	

#### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	特になし	

#### 8. 評価と展望

##### 〔評価〕

- ・2024年度は5月にホームから自立して一人暮らしを始めた利用者1名が自立してアパートに引っ越しした。
- ・6月に新ホームが開所となった事で、6月に1名、7月に2名、8月に1名の新入居者が利用を開始した。
- ・7月に利用者1名がサテライト利用を開始した。
- ・7月に新人職員1名がグループホームの専属職員として配置された。
- ・11月に管理者を変更した。
- ・職員やパートの急な欠勤、及び利用者の病気の際には通所職員にも協力してもらい、ホームの配置に入ってもらった。夏季休暇などの休業期間の際にも計画的に勤務に入ってもらった。
- ・有休消化を計画的に立てて消化する事が出来たが、夜勤者の有休取得や急な欠勤の際の配置変更は課題となった。

##### 〔展望〕

- ・利用者支援では常に通所と連携・連絡を密に取って支援を行っていく。
- ・各ホームで消毒・換気を継続して感染予防に配慮していき、利用者さんが安全に暮らせる環境作りに努めていく。
- ・今後は様子を見て集団での屋外活動も検討していき、外で楽しめる機会を作っていく
- ・朝夕の2回勤務をする職員の確保が難しく、勤務体制を抜本的に見直す時期に来ている。
- ・求人広告を定期的に出しているが希望者が少なく、今後の人員確保をどうするか大きな課題となっている。

### ショートステイホームカリブ

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	20	20	19	17	13	15	18	16	15	15	13	14	16.3
北区	1	1	2	4	3	2	3	3	3	3	3	5	2.8
西区	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.7
手稲区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
厚別区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	21	21	21	22	17	18	22	20	19	19	17	20	19.8

## (2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計	21	21	21	22	17	18	22	20	19	19	17	20	237

## 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
世話人	常 勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世話人	非常勤	30	30	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30
生活支援員	常 勤	21	21	22	21	20	20	20	20	20	20	20	20
生活支援員	非常勤	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
合計		60	60	62	62	61	61	61	61	61	61	61	61

## 3. 支援業務

## (1) 個別支援計画の策定

- ・ ジャンプレッツ・ハーベストガーデン・トリニティと連携をとり、短期入所計画を策定している

## (2) 主な日中活動

- ・ 起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・ 夕食・入浴・くつろぎ・睡眠

## (3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・ 特になし

## 4. 施設設備管理業務

- ・ 防災設備 (法定点検年 2 回)

## 5. 防災対策

## (1) 防火管理者の状況

職名	防火管理責任者	氏名	内山 武人	選任届出年月日	2015 年 9 月
----	---------	----	-------	---------	------------

## (2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2024・4・19	避難・消火・通報・救出・その他	2024・10・18	避難・消火・通報・救出・その他
2024・5・17	避難・消火・通報・救出・その他	2024・11・15	避難・消火・通報・救出・その他
2024・6・21	避難・消火・通報・救出・その他	2024・12・20	避難・消火・通報・救出・その他
2024・7・19	避難・消火・通報・救出・その他	2025・1・17	避難・消火・通報・救出・その他
2024・8・23	避難・消火・通報・救出・その他	2025・2・21	避難・消火・通報・救出・その他
2024・9・20	避難・消火・通報・救出・その他	2025・3・21	避難・消火・通報・救出・その他

## 6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
グループホーム会議	毎週月曜	52回		管理者・サビ管 世話人・生活支援員	18名	

## 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	なし

## 8. 評価と展望

〔評価〕

- ・感染症もほぼ収まり、土日および長期休みなどを除くとほぼ満床を維持する事が出来ていた。
- ・利用者の自己決定や自己選択を尊重する事を第一に支援を行なっていく。
- ・関わりが難しい利用者に関してはその都度、通所と連携をとりチームで支援する事が出来た。
- ・感染対策のため、消毒・換気を継続して、利用者さんが安全に暮らせる環境作りに努めた。

〔展望〕

- ・コロナ感染は落ち着いたが、引き続き、職員はマスクを着用するなど感染予防対策を行い利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、安心・安全で明るい支援を行う。
- ・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂けるように、職員が連携して明るく肯定的な対応に心がける。

# VI 医療部門

## むぎのこ発達クリニック

### 1. 施設利用状況

- ・1年間の受診者数 15707人 1日平均60人
- （紹介状：92通 特別児童扶養手当診断書：318通
- 国民年金診断書（精神障害用）：37通 福祉手当診断書：29通
- 自立支援意見書：60通 精神通院医療診断書：9通
- デイサービス診断書：73通 発達・知能検査レポート文書：646通
- 保育園幼稚園加配診断書（保育園診断書）：39通
- アレルギー診断書：1通 その他文書：134通）
- ・インフルエンザ予防接種 830人
- ・定期・任意の予防接種（定期接種：278人 任意接種：44人 コロナ：10人）

### 2. 健康管理業務

#### (1) 医療体制

- ・通常の診療体制が、その月によって生じる体制変更の内容は、むぎのこ掲示板と各成人部部門に掲示している。また、クリニックだよりのお知らせ欄には、確実に記載していく。
- ・療育中のけがにおいては、診療を最優先にして即時に対応することが難しい場合もある。
- ・特定の整形外科等とは、今後も協力いただけるよう、日頃の連携を大切にしている。

#### (2) 健康管理

- ・職員の健康診断を、早期に済ませれるようスケジュールに沿って確実に受けれる手配を手早くした。
- ・秋には、法人全体の健康診断状況や結果をチェックして必要時個別に対応した。
- ・各事業所の感染対策、衛生管理等の意識付けをタイミングをみて行った。
- ・市内の感染症や法人内の罹患状況を把握して、できるだけ迅速に対応して蔓延防止に努めた。

### 3. 施設設備管理業務

- ・セコムに引き続き依頼して、防犯対策を行った。
- ・設備の点検・補修等は、辻野建設にすぐに対応していただいた。
- ・施設周囲の点検・整備はこまめに行い、近隣とのコミュニケーションの目的としても意識して行った。

### 4. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
医師	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
診察補助者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
診察補助者	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ST/OT/心理療法者	常勤	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
ST/OT/心理療法者	非常勤	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	7
事務員	常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
事務員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24

### 5. ボランティアの受入

- ・特になし

### 6. 実習生・介護等体験の受入

- ・むぎのこ実習生に対して、クリニックでの各種療法や親子教室の見学など、クリニックの位置づけを通して、依頼時には随時対応した。

### 7. 障害者自立支援法による事業の整備

- むぎのこ利用児・者の他にも、福祉資源を有効に活用できるよう情報提供と、必要時診断書および意見書の作成・調整・相談を行った。

### 8. 人事労務・給与制度等(全事業共通)

人事労務管理	異動事項特になし
給与制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉職員処遇改善助成金による処遇改善の実施</li> <li>・最低賃金改定に伴い時間給を改善</li> <li>・みなし労働制を導入</li> </ul>
職員福利厚生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員福利厚生の充実のため、パートタイム職員も含め、福利厚生センター（ソエルクラブ）への加入を促進した。</li> <li>・全職員に対する定期健康診断を実施した。</li> <li>・腰痛検査を実施した（直接処遇職員）。</li> </ul>

### 9. 職員研修

#### (1) 法人・事業所内研修

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
4/1	むぎのこ	法人研修	9名
5/12～13 12/22～23	むぎのこ	リハビリテーション職員研修ボバースコンサルテーション	5～6名

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
11/3	こどもサポートどろんどろんクラブ	感覚統合講習会	2名
10/18.25	発達支援センターおがる	発達障害講座スタンダード	1名
10/21.22	日本小児理学療法学会	第10回日本小児理学療法学会学術大会	3名

11/23.24	日本整形外科学会	第 34 回日本整形外科学術集会	1 名
4/30～5/8	日本感覚統合学会	感覚統合療法実践 C コース	1 名
4/22～4/23	日本 DCD 学会	第 6 回日本 DCD 学会学術大会	1 名
2/24 7/8 10/19	北海道感覚統合研究会	2024 年度北海道感覚統合研究会定期講習会	1～2 名
3/18・19・21	国立障害者リハビリテーションセンター学院	令和 6 年度言語聴覚士研修会＜吃音の臨床＞	1 名

## 10. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
全体会議	月 1 回	12 回	0 回	クリニック全職員	7～8 名	
リハミーティング	月 1 回	11 回	0 回	リハ職	5～6 名	

## 11. 財務・事務管理(全事業共通)

情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業所に事業・法人の報告・計画、決算・予算等を開示した。</li> <li>・ホームページを全面更新し、情報発信を強化した。</li> <li>・後援会と連携し、日常の様子を公開に努めた。</li> </ul>
個人情報保護と共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子データを外部メディア等に複製すること等の禁止を徹底した。</li> <li>・電子データは専用サーバーに保存し、職員のみ VPN 接続で共有した。</li> </ul>
苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情処理要綱により、各事業が迅速に対応した。</li> </ul>
業務の効率化・コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部配置職員(パートを含む)を増員し、各事業の共通業務を一元管理した。</li> <li>・各事業所のパソコンを随時更新・追加し、業務の効率化を図った。</li> </ul>
契約の公正・透明性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用契約は担当職員によって公正に契約した。</li> <li>・経理系契約は入札を含め、経理規程を遵守した。</li> </ul>
事務管理の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人職員と各事業所事務担当職員との連携を図った。</li> </ul>
第三者評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価は実施していない。</li> </ul>

## 12. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

## 13. その他特記事項

法人内の医療事業としての意識をもって、むぎのこ年間スケジュールにより沿った連携が取れたと思う。今後は、より具体的な内容・意識を持って連携が取れればと思う。

## 14. 評価と展望

### (1)心理療法・査定（アセスメント）

令和 6（2024）年度心理支援業務報告 報告者 公認心理師・臨床心理士 吉村実保

令和 6（2024）年度の心理師の体制は、常勤公認心理師：吉村実保，非常勤公認心理師：秋田有紀子・加藤香子・野畑隆子・福原尚子・水上真理子の 5 名が勤務した。

### ① 個人心理療法

心理療法の方法は、各セラピストの専門性により、実際の行動の改善を目的とするアプローチ（認知行動療法，遊戯療法，精神分析的トラウマ療法）、心の中の対人関係の改善やコミュニケーションの向上を目指すアプローチ（発達期の認知行動療法，遊戯療法）、支持的心理療法など様々あるが、セラピストは個々のクライアントのニーズや問題を十分考慮した上で、そのクライアントに適した支援を行った。

秋田は，1 名に実施した。内容は，不登校の小学生。

加藤は，1 名に実施した。内容は，中 1 不登校の母に面談実施。

水上は、8名に実施した。内容は、性被害3人、PTSD1人、発達3人、大人1人に主にトラウマ療法だった。  
吉村は、11名に実施した。内容は、感情表現の拡大、不安のコントロール、社会性の向上、怒りと衝動性のコントロール、緘黙児への支援などだった。

合計 21 ケース

## ② 心理査定

各種（発達・知能・心理）検査は、子ども【新版K式発達検査、WISC-V、田中ビネーV知能検査、描画をはじめとした心理検査 etc】、成人【WAIS-III、田中ビネーV知能検査 etc】を実施した。

### a) 新版K式発達検査

秋田（1）、加藤（40）、福原（34）、吉村（87）、クリニック支援（金澤）（32）

合計 194 ケース

### b) 田中ビネー知能検査-V

秋田（91）、加藤（100）、野畑（25）、吉村（222）

合計 438 ケース

### c) ウェクスラー式知能検査（WISC-V・WAIS-III）

秋田（27）、加藤（24）、吉村（84）

合計 135 ケース

### d) その他発達検査（遠城寺式・乳幼児分析的発達検査など）

吉村（1）

合計 1 ケース

### e) 質問紙法による心理検査（MMPI、YG、TEG、MAS etc）

秋田（2）、加藤（1）、吉村（1）

合計 4 ケース

### f) 投射法による心理検査（HTP、PF スタディ、風景構成法、バウム、ロールシャッハ etc）

秋田（25）、加藤（13）、水上（1）、吉村（27）

合計 66 ケース

### g) 神経心理学的検査（フロスティグ視知覚発達検査、ベンダーゲシュタルト検査、Rey 複雑図形検査）

秋田（1）、吉村（1）

合計 2 ケース

### h) 発達心理学的検査（グッドイナフ人物画知能検査）

秋田（11）、加藤（22）、吉村（11）

合計 44 ケース

## ③ 集団精神療法

開始前にセンターと事業、保育園の担任の先生と打ち合わせをしたうえで、方法はそれぞれの集団の特徴を考慮し、SST、ロールプレイ等の認知行動療法や集団プレイセラピーを組み合わせで実施した。

今年度実施した小集団は、合計11グループだった（隔週1回40～50分）。

センターぞう組：4グループ（6人／秋田、5人／水上（年度後半は福原）、6人／福原、5人／吉村）

事業シーランチ・セーボネス組：4グループ（7人／秋田、12人／加藤、8人／水上（年度後半は吉村））

事業ヨシア組：3グループ（13人／加藤、5人／吉村）

水上は通院する児の親10名を愛着のパターン別に2グループに分けて勉強会グループを実施した。

水上は通院する児2名に性教育グループを実施した。

## (2) 障害児・者リハビリテーション

### ① 理学療法士業務報告

理学療法士 高松 由梨奈 松原 鮎香

運動機能面（粗大運動・協調運動など）・行動面・情緒面・認知面等に発達上の困難さがある子どもについて、医師の指示のもと評価し、1回40分～60分、週1回または2週間に1回、月1回の設定で理学療法（個別機能訓練）を実施した。2か月に一度ジャンプレッツの方が来て健康体操などの実施やトリニティへ行き理学療法（個別機能訓練）を実施した。また、理学療法評価のみを実施し、結果を診察時にお伝えして経過観察とする例もあった。

札幌市より、社会福祉法人麦の子会が指定管理を受けたことにより、札幌市みかほ整肢園でのリハビリテーション業務を高松が兼務した。

高松：69 例 松原：27 例（計：96 例）

## ② 作業療法士業務報告

作業療法士 大坪光保 鳥越夕妃 川合麻里奈 齋藤杏佳 松田京 木野宮憂奈  
運動機能面（粗大動作・巧緻動作・協調運動など）・行動面・情緒面・認知面等に発達上の困難さがある子どもについて、医師の指示のもと評価し、1 回 40 分～60 分、週 1 回または 2 週間に 1 回、月 1 回の設定で作業療法（個別機能訓練）を実施した。また、作業療法評価のみを実施し、結果を診察時にお伝えして経過観察とする例もあった。

札幌市より、社会福祉法人麦の子会が指定管理を受けたことにより、札幌市みかほ整肢園でのリハビリテーション業務を鳥越と川合が兼務した。

実習生の受け入れ：北海道大学・北海道医療大学・日本医療大学より計 7 名

大坪：149 例 鳥越：15 例 川合：24 例 齋藤：52 例 松田：93 例 木野宮：11 例（計：344 例）

## ③ 言語聴覚業務報告

言語聴覚士 矢田 麻貴 結城佳生里

### I. “言語聴覚士業務計画”に基づく実施報告

#### a) 言語評価

医師の指示の下、コミュニケーションに関する客観的ならびに主観的評を実施し、保護者への説明、相談を行った。評価後は必要に応じて指導へと移行した。

#### b) 言語指導

R6(2024)年度末時点での言語聴覚療法対象児の総数は矢田 97 名 結城 90 名 187 名であった。子どもの状態に応じて、40 分間の個別指導を主とした言語指導、構音（発音）指導、AAC（拡大・代替コミュニケーション）指導、摂食指導を行った。定期的に、医師を交えて親への内容・経過報告、方針再検討等の機会を設けた。

※3 月で終結また新規開始予定児や評価のみも含む。

#### c) 摂食指導

従事した対象児は 0 名。

## (3) 親子教室

午前：週 2 回、午後：週 3 回、未就園児から市内の保育園・幼稚園に通っている未就学児までを対象とし、親子教室（クリニック母子支援事業）を、医師、公認心理師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、看護師とともに実施した。

## (4) むぎのこ児童発達支援センター、児童発達支援事業むぎのこ、成人事業所との連携

月 1 回程度、落合作業療法士の来園訓練に合わせ、ジャンプレッツ利用者の方や、パンジー組の訓練対象児への関わり方を指導いただいた。また、法人内事業所利用者を中心に、幼児・学童・成人部門それぞれの通園児・利用者らの身体機能・生活技能・認知機能の獲得、維持、向上を図るため個別に関わり、直接的または間接的に発達支援を行った。

## (5) クリニック他職種との連携

医師、公認心理師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、看護師と、都度、対象者についての報告・相談を行い、毎月のクリニック全体会議の中で情報交換をし他職種とのより円滑な業務連携が図られるよう努めた。

## Ⅶ 地域連携

### 相談室セーボネス

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	483	484	490	497	509	523	535	539	549	550	561	562	524
北区	48	49	51	52	52	52	52	52	53	53	53	53	52
西区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白石区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
豊平区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央区	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
手稲区	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3
厚別区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清田区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市外	2	2	2	2	3	3	5	5	5	5	5	5	4
計	546	548	556	564	577	591	605	609	621	622	633	634	592

##### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	501	655	736	753	713	793	886	783	852	785	691	694	8842

#### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
相談支援専門員	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
相談支援専門員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
相談員	常勤	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
相談員	非常勤	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2
地域支援員	常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域支援員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		8	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9

#### 3. 支援業務

##### (1) サービス等利用計画案、サービス等利用計画の策定

- ・アセスメントに基づきサービス等利用計画案を作成。
- ・サービス担当者会議に基づき、サービス等利用計画を作成。

##### (2) 主な日中活動

- ・基本相談支援
- ・アセスメント
- ・サービス等利用計画案の作成
- ・サービス担当者会議の開催
- ・サービス等利用計画の作成
- ・モニタリングの実施



(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	なし
5月	なし
6月	なし
7月	なし
8月	なし
9月	なし
10月	なし
11月	なし
12月	なし
1月	なし
2月	なし
3月	なし

4. 施設設備管理業務

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	火気取扱 責任者	氏名	田中 佳子	選任届出年月日	2023 年 4 月 1 日
----	-------------	----	-------	---------	----------------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加 人数	参考事項
		定例	臨時			
サービス担当者会議	計画作成時		9 回	相談支援専門員他		
要保護児童対策地域協議会	随時		11 回	相談支援専門員他		
ケース会議	随時		105 回	相談支援専門員他		
自立支援協議会 (事務局会議等含む)	毎月 1 回	37 回		相談支援専門員他	10～15 名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・ 障がい種別に関係なく、札幌市の障がい児・者又は家族の日常生活の相談、金銭管理、福祉サービス、就労支援、精神的支援に訪問、来所、電話、メールで応じた。各種福祉サービス申請に関わる援助をし、区役所、児童

相談所、福祉事業所、教育委員会、病院、学校、法律事務所などの同行支援等を行った。計画相談として、サービス等利用計画の作成をした。

- ・札幌市自立支援協議会相談支援部会、同東区地域部会に参加した。障がい有無に関わらず、互いに理解し、共生できる地域を目指すことを目的に研修等を行った。関係機関との連携で、要保護家庭や保護者に障がいがある家庭、子どもに障がいがある家庭への支援を行った。
- ・地域支援員の委託を受け、行政機関や地域包括支援センター等と協力し、民生児童委員、福祉協力員の方と一緒に、地域社会に障がいの理解が浸透するよう活動した。東区社会福祉協議会や地域包括支援センター主催の研修等で講師を務めた。

〔展望〕

- ・今後も本人主体の相談を心がけ、人権を尊重した支援を行う。
- ・児童発達支援センター、児童相談所、病院、まあち、保健センター、学校等の関係機関と連携する。
- ・本人そして家族を大事にする相談室を目指す。

## むぎのこ子ども相談室

### 1. 施設利用状況

#### (1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	192	192	192	193	193	193	193	193	193	193	193	191	192
北区	63	63	63	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65
西区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
南区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
手稲区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
石狩市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
当別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	263	268	268	271	271	271	271	271	271	271	271	269	270

#### (2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	6	23	21	28	21	35	23	31	21	16	17	27	269

### 2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
主任相談支援専門員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

### 3. 支援業務

#### (1) サービス等利用計画案、サービス等利用計画の策定

- ・アセスメントに基づきサービス等利用計画案の作成
- ・サービス担当者会議に基づき、サービス等利用計画の作成
- ・基本相談支援
- ・アセスメント
- ・サービス担当者会議の開催
- ・モニタリングの実施

#### 4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器、誘導灯の点検(法定点検年2回)

#### 5. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
法人職員会議	毎月1回	12回		主任相談支援専門員	1名	
子ども相談室会議	毎月1回	12回		主任相談支援専門員・事務員	2名	
サービス担当者会議			随時	主任相談支援専門員・児童発達支援管理責任者等	2名以上	

#### 7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	特になし	特になし

#### 8. 評価と展望

##### 〔評価〕

- ・家族のニーズに合わせて、各事業所や委託の相談室等と連携しながら、サービスの更新や変更手続き等の支援や、新規申請にもすぐに対応していった。
- ・引き続き同意をもらう計画を立て、前年度よりも本計画やモニタリングを請求に繋げられる件数が増えてきているが、月によって差がある為、新規も含めて件数を増やしていく。
- ・計画相談の手続きとして、①保護者が区役所に申請に行く、②申請後、計画相談の依頼という流れが保護者の方で理解していない場合もあるので、まずは保護者が区役所に申請の手続きを行うことを伝えながら、難しい場合は代理申請等の支援を行なった。
- ・児者転換の手続き等も増えてきているが、各事業所や保護者とも連携して進めていくことが出来た。

##### 〔展望〕

- ・次年度も引き続き子ども達やご家族、利用者さんに寄り添いながら、必要な支援にすぐに繋げられるように計画相談を行い、また本計画とモニタリングの請求件数を増やしていく。
- ・地域療育等支援事業や、地域支援マネージャー、委託の相談室等とも連携しながら、地域支援や家族支援を行っていく。
- ・各機関や事業所、担当者と連携しながら、必要なサービスの利用にすぐに繋げたり、子どもや家族の困り感に寄り添いながら、支援していく。
- ・幼児期の児童発達支援から学齢期の放課後等デイサービスへや、児童から成人へのサービスの切り替えを切れ目なく行えるように、早めに申請等の声掛けを行い、計画を進めていく。
- ・委託相談室や各事業所と連携しながら、困難ケースや社会的養護のケースについても、協力しチームで支援を行う。

### 当別町子ども発達支援センター発達支援専門職員派遣業務

#### 1. 施設利用状況

##### (1) 支援回数

(単位 人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計			1	1			1	1	1	1			6
前年度			1		1		1	1			1	1	6

#### 2. 支援業務

(1) 業務

- ・当別町子ども発達支援センターにおける、発達評価および専門指導
- ・当別町子ども発達支援センターの指導業務における指導及びスーパーバイズ

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
心理士	常勤			1			1	1	1			1	1

(2) 派遣職員

心理士 1名

3. 評価と展望

- ・当別町子ども発達支援センターに対し発達評価および専門指導を積極的に実施した。
- ・当別町子ども発達支援センターのニーズに合わせ、細かく、柔軟に専門支援を実施した。
- ・当別町子ども発達支援センター関係者（保護者、児童館職員）への講義を実施した。
- ・当別町子ども発達支援センター職員の専門的スキル、機能の獲得は達成できている。今後の支援方法について検討が必要。

## 妊娠SOS事業

1. 相談件数

電話、LINE、メール 24時間 365日対応  
2024.4月から2025.3月末で 延べ相談件数 4,305件  
相談者実人数：1,090人

2. 居場所支援 Lilja（リリア） 開設 R4.3.10

- (1) Lilja（リリア）開設前にもニーズがあり法人所有施設の空き部屋を活用して  
臨時的居場所支援を実施した。2024年度の利用実績11名 稼働日数：669日  
前年度より短期間の利用が多く、利用人数は増加したが、稼働日数は減少した。  
法人スプリング内2階の一部屋も居室にする工事をし、5月末に完成。居室は4室となった。

(2) 主な支援内容

生活支援、病院・法律事務所同行、心理支援、栄養指導、育児指導、妊娠期からの支援

3. 研修参加

日	研修名	開催地	参加者
2024.6.11-12	函館市母子支援施設視察	函館市	2人
2024.7.10	旭川市母支援施設視察	旭川市	2人
2024.10.4	全妊ネット情報交換会	東京都	2人
2024.10.2	北区妊産婦支援の為にネットワーク連絡会	札幌市	1人
2024.11.29-12.1	虐待防止学会	高知県	2人
2024.12.14	思春期は怖くない！小学生からの性と栄養	札幌市	3人
2024.2.6	保健師の母子保健における支援の充実に向けた座談会	札幌市保健所	1人

4. 研修講師

日	講座名	対象者	講師
2024.7.3	帯広市「地域別子どもの安全・安心ネットワーク推進事業検討会」	管内市町村母子保健関係職員、福祉関係職員、管内医療機関、保健所保健師	田中佳子
2024.11.29	東温市「困りごとを療育で	市町村保健関係職員、福祉関係職	

	輝かせる。すべての人が大切にされる社会を作りたい」	員、医療機関関係職員、	田中佳子
2024. 12. 13	中標津「根室・中標津保健所管内養育者支援保健・医療連携システム会議」	管内市町村母子保健関係職員、福祉関係職員、管内医療機関、保健所保健師	田中佳子
2024. 12. 17	北星学園大学 法学にて講義	北星学園大学の学生	田中佳子
2025. 1. 17	R6 年度札幌市男女共同参画センター	一般の方々	田中佳子
2025. 1. 24	専門里親認定研修	専門里親	田中佳子
2025. 2. 3	札幌市清田区ネットワークの強化を図るための研修会	保健師、助産師、学校の養護教諭・	田中佳子

## 5. ホームページの運営

ホームページを引き続き開設。

SNS 広告（x・インスタ・フェイスブック）を行い周知に効果的となっている。

次年度は、ティックトックに広告動画を配信予定。

ホームページの内容に出産してしまった場合も相談が出来ることも入れています。

にんしん SOS がネットニュースになっているものを見て連絡してくる妊婦さんがいた。

## 6. 評価と展望

〔評価〕

- ・引き続き 24 時間、365 日対応することができた。
- ・相談件数は昨年度から、延べ 2,174 件の増加。
- ・居場所事業リリアの利用も、空くことなく 11 名の利用があった。
- ・養子縁組機関ペアホープさんとも連携し、12 名の赤ちゃんが特別養子縁組となり、4 名が里子となった。
- ・開設から現在まで 45 名の新生児が誕生。（リリア入居者・外支援含む）

〔展望〕

- ・誰にも相談できない孤立している妊婦さんが相談しやすいように敷居の低い相談窓口を目指す。
- ・次の支援につながるように信頼関係を築けるように寄り添う支援を続けていく。
- ・なにより 0 日虐待の防止。命を守るように努めていく。
- ・望まぬ妊娠を予防する為に正しい性教育、緊急避妊薬の情報を伝えていく。
- ・潜在的な相談者に配布したリーフレット、妊娠相談カード、ステッカーが届くような仕組み、広報活動として SNS での広告を広めていく。

## 親子のための相談 LINE(SNS 相談)事業

### 1. 事業の概要

○本事業は、こども家庭庁による「虐待防止のための SNS 相談事業」に基づいて、自治体からの委託により運営している相談事業である。

○妻の子会は、北海道（令和5年2月開始）と札幌市（令和5年5月開始）の2自治体と委託契約を締結し、北海道内の179市町村全域の親子が、相談対象となっている。

相談方法 「原則 LINE 相談」 ※児童虐待などの緊急対応時には電話対応も行う。

運営時間 平日9:00～17:00（ただし相談開始後は、17:00以降も終了まで対応）  
土日祝祭日、年末年始は、相談は行わない。

体制 相談員7名以上（北海道3回線、札幌市1回線に対応）  
業務責任者1名

### 2. 相談実績（令和6年度）

札幌市：1,074件（総対応時間、2,017時間46分）

繋ぎ支援 6件（児童家庭支援センター、区保健センター、児童相談所）

北海道：828件（総対応時間、1,732時間58分）

繋ぎ支援 9件（児童相談所、市町村保健センター）

### 3. 研修の実施状況

実施日	研修内容
R6.4.1	社会福祉法人麦の子会研修
R6.4.4～5.9	情報リテラシーの向上のための情報教育について
R6.5.7	SNS 相談(相談 LINE)の一層の理解と、相談の意義について
R6.5.24	子どもの心身発達と危険防止
R6.6.3	アンガーマネジメントについて
R6.7.22	里親制度・社会的養護について
R6.8.5	家族システムについて
R6.8.23～8.26	日本臨床発達心理士会第 20 回全国大会(長野大会)
R6.9.19	子ども虐待対応について
R6.9.24 9.26 9.30 10.2	北海道要保護児童対策調整機関担当者研修会 【子どもの所属機関の役割と連携、子ども家庭相談援助制度と実施体制、子どもの権利擁護と倫理、法令と制度の理解と活用】
R6.10.8	子ども誰でも通園制度について
R6.11.18	子どもとインターネットやゲームの世界
R5.11.29～12・1	日本子ども虐待防止学会第30回学術集会所かがわ大会
R6.12.13	スクールカウンセラー(SC)制度について
R7.3.14～3.16	第 7 回 FLEC フォーラム(早稲田大学)

### 4. 広報活動

○相談に用いるリーフレット、相談カードなどの広報ツール準備は、委託元の自治体が担当するが、児童相談所や市町村窓口から希望がある場合には、麦の子会が配布等に協力する。

○児童相談所主催の市町村会議(研修会)での事業説明を実施。(北海道地区)

日	会議(研修会)名	開催地	参加者
2025.8.23	子どもの安全・安心ネットワーク推進検討会(宗谷)	稚内市	26 人
2025.8.27	子どもの安全・安心ネットワーク推進検討会(留萌)	留萌市	43 人
2025.8.27	子どもの安全・安心ネットワーク推進検討会(上川)	旭川市	43 人
2025.10.15	石狩地域要保護児童対策連絡協議会	札幌市	55 人
2025.10.21	後志地域要保護児童対策連絡協議会	倶知安町	52 人
2025.10.31	空知地域要保護児童対策連絡協議会	岩見沢市	51 人
2025.11.13	児童虐待対応専門研修会	北見市	42 人
2025.11.20	根釧地域要保護児童対策連絡協議会	釧路市	35 人
2025.12.10	日胆地域要保護児童対策連絡協議会	苫小牧市	48 人
2025.12.19	道南地域要保護児童対策連絡協議会及び配偶者暴力防止に関する実践研修会	函館市	62 人
2026.1.22	十勝地域要保護児童対策連絡協議会	帯広市	27 人
2026.3.25	第 55 回チャイルドファーストはこだて(函館中央病院)	函館市	58 人

### 5. 評価と展望

〔評価〕

- ・委託事業として、北海道及び札幌市との協議・連携を図りながら、実質2か年の相談対応を経過した。
- ・6年度は、業務責任者1名・相談員7名（内パート1名）により、相談対応（平日）及び緊急対応（土日祝祭日等）を担ってきた。
- ・また、相談内容の多様化に応じるために、計画的に相談員の「設定研修（児童虐待対応、子どもとインターネット、スクールカウンセラー制度等）」と麦の子会の研修メニュー等により、職員のスキル向上に努めた。
- ・また、本事業の利用促進のためには、不断に相談者に向けて広報活動が続ける必要があり、このために、全道の児童相談所主催の市町村職員会議等を通じて、事業紹介や活用方法の説明を行い、より多くの相談者がこの事業につながるよう努めた。

〔展望〕

- ・多様な相談に応じていくために、引き続き研修やケース学習等を通じての職員の研鑽と、スキル向上に努めていく。
- ・相談を希望する方の、裾野・間口を広げるために、児童相談所が主催する市町村会議等で広報を進めるとともに、教育委員会や養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの近接する組織・機関等にも事業説明などを行っていく。
- ・また、委託事業であることを踏まえて、北海道及び札幌市との協議を十分に行い、委託者の目的に沿った事業遂行に取り組んでいく。
- ・事業所運営については、委託事業の特殊性に留意しながら、人事・経理とも連携を深めていく。